

平成28年度

事業報告書

社会福祉法人 摂津宥和会

《も く じ》

ま え が き

1	摂津宥和会事務局		1
2	地域生活支援センター		
	Ⅰ 障害者支援施設「摂津市立みきの路」		1 1
	Ⅱ 共同生活援助（グループホーム）		2 4
3	摂津市立児童発達支援センター		
	Ⅰ 児童発達支援センター「つくし園」		3 1
	Ⅱ 障害児通所支援施設「めばえ園」		4 2
4	摂津市総合福祉施設「ふれあいの里」		
	Ⅰ 多機能型事業所「摂津市立ひびきはばたき園」		4 7
	Ⅱ 摂津市立身体障害者・老人福祉センター		6 9
	Ⅲ 摂津市障害者職業能力開発センター「せつつくすのき」		7 5
5	摂津市立第1児童センター		8 5
6	摂津市障害者総合支援センター		
	Ⅰ 摂津市障害者総合相談支援センター「ウィング」		9 3
	Ⅱ 茨木・摂津障害者就業・生活支援センター		9 8

ま え が き

社会福祉法人摂津宥和会は、平成27年4月1日に合併後、2年目を迎えました。

今年度も、昨年度に引き続き、人事異動を積極的行いました。人事異動により、職員がそれまで培ってきたスキルや経験を新しい職場に持ち込むことで、職場の活性化を図りました。

平成29年度から施行される社会福祉法人制度改革に向けて、外部研修の受講等を通じて情報収集をし、その内容をもとに法人内で検討を重ねてまいりました。新理事、監事、評議員、評議員選任・解任委員の選任、大阪府への定款変更申請等を行い、法改正にスムーズに対応できるよう準備をしました。

生活介護事業については、みきの路とひびきはばたき園の2か所で行っていることから、昨年度より、両施設長等による話し合いの場を設け、支援内容の課題などの検討を重ねてきた結果、29年度からは、送迎バスの相互乗り入れを実施していく予定です。両事業所の特徴を生かした事業内容と連携による効率的な運営を目指しています。

法人主催行事に、利用者の方々が個々の希望により新しく参加できるようにすることで、利用者の方の活動範囲の広がりをもたせることができ、法人としても主催行事の充実を図ることができたと考えております。

平成29年度は、新規事業といたしまして、みきの路と障害者総合支援センターとの連携による「地域生活拠点事業」、児童発達支援センターでの「親子教室」、ひびきはばたき園での「自立訓練（生活訓練事業）」、身体障害者・老人福祉センターでの「つどい場事業」を実施する予定です。

引き続き利用者本位で法人運営をしていくとともに、法人全体で職員の専門性の向上を目指し各種研修や虐待防止の体制づくりなどに積極的に取り組んでいきたいと考えております。

1 摂津宥和会事務局

(1) 法人事務局の移転について

平成29年1月より、法人事務局を、摂津市立ふれあいの里内から、摂津市立みきの路内へ移転した。24時間職員が常駐している摂津市立みきの路内へ移転することで、障害者の地域生活支援拠点となるよう、地域生活支援センターの機能充実を図っていきたい。

(2) 理事会等

①理事会の開催状況と議決事項

回数	開催月日	出席者	議 決 事 項 等
第1回 理事会	4月1日	理事 6名	1 社会福祉法人摂津宥和会 理事長選任 2 社会福祉法人摂津宥和会 常務理事の同意 3 社会福祉法人摂津宥和会 身体障害者・老人福祉センター 施設長の任命
第2回 理事会	5月27日	理事 7名	1 平成28年度就業生活会計補正予算(第1号)専決処分報告 2 平成27年度 事業報告並びに各会計決算認定
第3回 理事会	10月7日	理事 6名	1 社会福祉法人摂津宥和会 理事長選任
第4回 理事会	12月19日	理事 6名	1 社会福祉法人摂津宥和会 職員給与に関する規則の一部を 改正する規則専決処分報告 2 社会福祉法人摂津宥和会 グループホーム「サクラ」開設 専決処分報告 3 社会福祉法人摂津宥和会 経理規則の一部を改正する規則 専決処分報告 4 平成28年度社会福祉法人摂津宥和会 補正予算(第2号) 専決処分報告 5 社会福祉法人摂津宥和会 定款変更 6 社会福祉法人摂津宥和会 評議員選任・解任委員の選任 7 社会福祉法人摂津宥和会 職員給与に関する規則の一部を 改正する規則制定

回 数	開催月日	出席者	議 決 事 項 等
第 5 回 理事会	3 月 27 日	理事 6 名	1 社会福祉法人摂津宥和会 評議員選任・解任委員の選任の内容についての報告 2 社会福祉法人摂津宥和会 職員給与に関する規則の一部を改正する規則制定 3 社会福祉法人摂津宥和会 評議員選任・解任委員会運営細則制定 4 平成 2 9 年度 指定管理者年度協定締結 5 平成 2 9 年度 社会福祉法人摂津宥和会 事業計画 6 平成 2 9 年度 社会福祉法人摂津宥和会 事業予算 7 社会福祉法人摂津宥和会 理事及び監事の選任 8 事務局長及び摂津市立身体障害者・老人福祉センター施設長の任命

②評議員会の開催状況と議決事項

回 数	開催月日	出席者	議 決 事 項 等
第 1 回 評議員会	5 月 27 日	評議員 14 名	1 平成 2 8 年度就業生活会計補正予算(第 1 号)専決処分報告 2 平成 2 7 年度 事業報告並びに各会計決算認定
第 2 回 評議員会	12 月 19 日	評議員 14 名	1 社会福祉法人摂津宥和会 職員給与に関する規則の一部を改正する規則専決処分報告 2 社会福祉法人摂津宥和会 グループホーム「サクラ」開設専決処分報告 3 社会福祉法人摂津宥和会 経理規則の一部を改正する規則専決処分報告 4 平成 2 8 年度社会福祉法人摂津宥和会 補正予算(第 2 号)専決処分報告 5 社会福祉法人摂津宥和会 定款変更 6 社会福祉法人摂津宥和会 評議員選任・解任委員の選任 7 社会福祉法人摂津宥和会 職員給与に関する規則の一部を改正する規則制定

回 数	開催月日	出席者	議 決 事 項 等
第 3 回 評議員会	3 月 27 日	評議員 14 名	1 社会福祉法人摂津宥和会 評議員選任・解任委員の選任の内容についての報告 2 社会福祉法人摂津宥和会 職員給与に関する規則の一部を改正する規則制定 3 社会福祉法人摂津宥和会 評議員選任・解任委員会運営細則制定 4 平成 2 9 年度 指定管理者年度協定締結 5 平成 2 9 年度 社会福祉法人摂津宥和会 事業計画 6 平成 2 9 年度 社会福祉法人摂津宥和会 事業予算 7 社会福祉法人摂津宥和会 理事及び監事の選任 8 事務局長及び摂津市立身体障害者・老人福祉センター施設長の任命

③評議員選任・解任委員会の開催状況と議決事項

回 数	開催月日	出席者	議 決 事 項 等
第 1 回 評議員選任・ 解任委員会	3 月 10 日	評議員選任・解任委員 3 名	1 社会福祉法人摂津宥和会 評議員の選任

④監査の開催

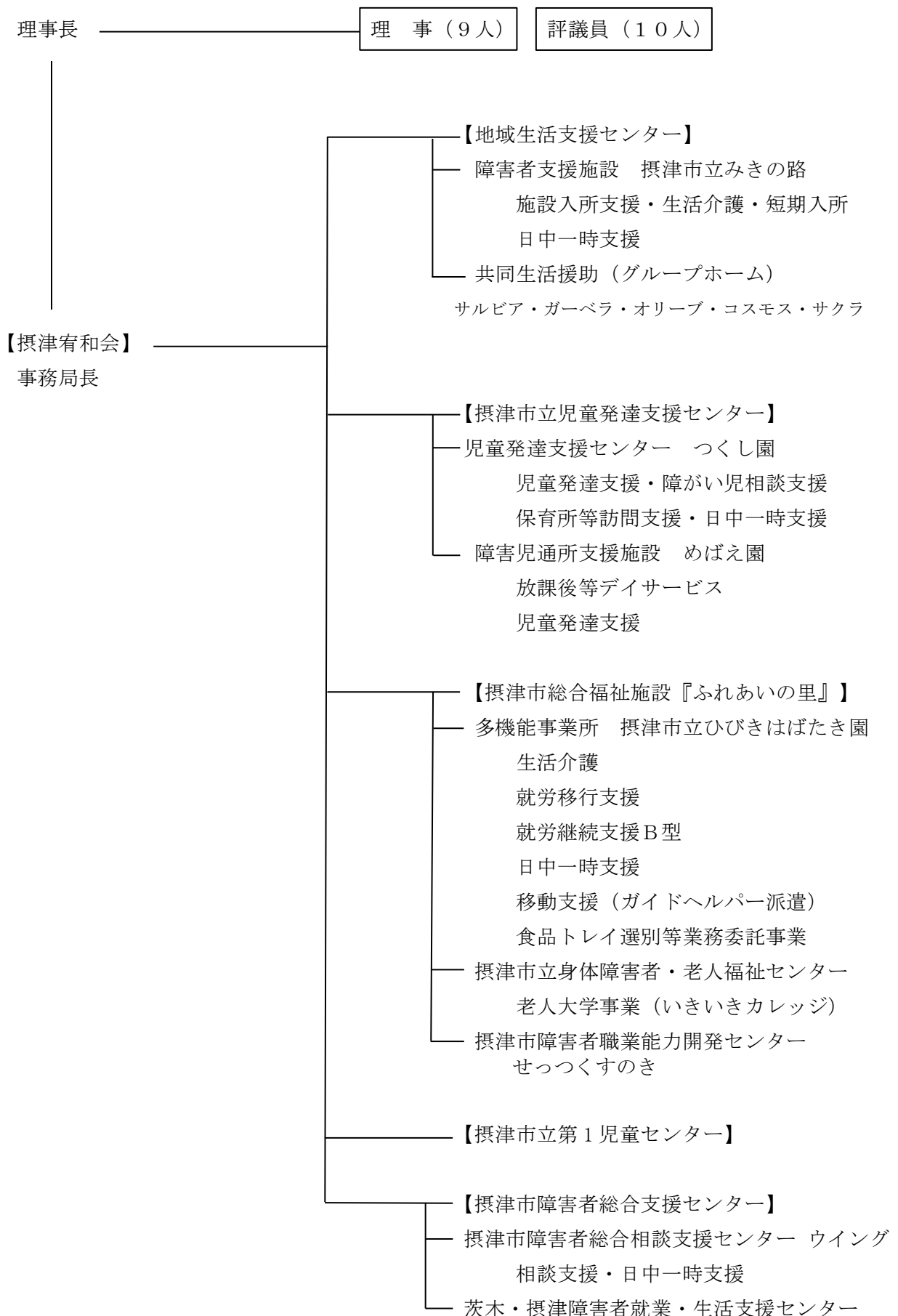
監査区分	実施月日	監 査 人	監 査 内 容
期末監査	5 月 20 日	辻監事 村田監事	平成 2 7 年度 事業報告及び各会計決算認定

⑤役員の体制（平成２８年４月１日現在）

役 職 名	氏 名	所属団体、役職名など
理事長 兼 評議員	馬 場 博	前 社会福祉法人 摂津宥和会 事務局長
理事 兼 評議員	堤 守	摂津市保健福祉部長
理事 兼 評議員	高 岡 國 士	社会福祉法人 成光苑 理事長
理事 兼 評議員	中 西 安	社会福祉法人 成晃会 理事
理事 兼 評議員	稲 田 通 子	摂津市手をつなぐ親の会 会長
理事 兼 評議員	近 藤 香 織	摂津市医師会
理事 兼 評議員	上 田 晴 二	前 社会福祉法人 摂津宥和会 理事長
理事 兼 評議員	松 嶋 桂 子	社会福祉法人 摂津宥和会 事務局長
監 事	辻 晴 雄	辻税務経営事務所 所長
監 事	村 田 守	鳥飼小学校地区福祉委員会 委員長
評 議 員	坂 本 ヒロ子	社会福祉法人 大阪手をつなぐ育成会 理事長
評 議 員	金 森 桂 子	摂津市立みきの路 家族会
評 議 員	西 原 道 男	摂津市肢体不自由児者 父母の会
評 議 員	山 本 聖 二	社会福祉法人光摂会ハッピーワールド
評 議 員	福 永 富美子	摂津市立保健センター 事務局長
評 議 員	小 島 勝 英	摂津市身体障害者福祉協会 副会長
評 議 員	木 下 薫	摂津市民生児童委員協議会
評 議 員	松 村 美 香	摂津市栄養士会 副会長
評 議 員	鶴 野 隆 浩	大阪人間科学大学 教授
評 議 員	山 下 恵美子	摂津市立ひびきはばたき園 家族会

(3) 組織

(平成29年3月31日現在)



(4) 職員構成 (平成29年3月31日現在)

単位：(人)

施設区分	施設定員	職員配置				合計
		正職員	契約職員	嘱託	嘱託医	
地域生活支援センター						
障害者支援施設 「摂津市立みきの路」	45	22	19	3	2	46
共同生活援助 (グループホーム) 「サルビア」	10	2		26		28
〃 「ガーベラ」	5					
〃 「オリーブ」	5					
〃 「コスモス」	4					
〃 「サクラ」	6					
摂津市立児童発達支援センター						
児童発達支援センター 「つくし園」	30	7	5	1	2	15
障害児通所支援施設 「めばえ園」	10	2	1	2	1	6
摂津市総合福祉施設「ふれあいの里」						
多機能型事業所 「摂津市立ひびきはばたき園」	60	15	8	3	(3)	29
摂津市立 身体障害者・老人福祉センター		5	1			6
摂津市障害者職業能力開発センター 「せつつくすのき」	20	5	1	2		8
摂津市立第1児童センター		2	3			5
摂津市障害者総合支援センター						
摂津市障害者総合相談支援センター 「ウイング」		7				7
茨木・摂津障害者就業・生活支援 センター		2	4			6
合 計	195	69	42	37	5	156

※ () は兼務

※ 摂津市立みきの路の施設定員は、施設入所支援30人、生活介護40人（施設入所支援30人を含む）短期入所・日中一時支援5人の、合計45人

(5) 事務・事業の実施状況

①法人の事業

法人の事業執行にあたっては、その基本的諸事項の審議について、理事会・評議員会を計8回、評議員選任・解任委員会を計1回開催した。また財務会計については、法人監事による決算監査を実施するなど、事業の円滑・適切な運営に努めた。事業の実施状況は次のとおりである。

実 施 日	内 容
4 月 1 日	第 1 回 理事会を開催
5 月 20 日	法人監事による決算監査
5 月 27 日	第 2 回 理事会・第 1 回 評議員会を開催
10 月 7 日	第 3 回 理事会を開催
12 月 19 日	第 4 回 理事会・第 2 回 評議員会を開催
3 月 10 日	第 1 回 評議員選任・解任委員会を開催
3 月 27 日	第 5 回 理事会・第 3 回 評議員会を開催

②施設運営

施設の運営については、関係法令や摂津市の条例並びに法人の運営要綱に基づいて、利用者のニーズやそれぞれの障がいに応じた支援と施設の特性を勘案しながら、相互に業務の協調を図ってきた。

(6) 職員研修

法人職員としての資質の向上を目的に研修を開催すると共に外部の研修にも参加した。

実施日	内 容	主 催	場 所	参加者
6 月 17 日	大阪府法人・施設等指導監査合同説明会	大阪府	クレオ大阪中央ホール	事務局次長
7 月 19 日	会計ソフト（TKCクラウド）の使い方について	法人事務局	身体障害者・老人福祉センター	各施設 会計担当者
7 月 31 日	平成28年度 理事長・施設長セミナー（社会福祉法人制度改革について）	大阪府社会福祉協議会	マイドームおおさか	事務局次長

実施日	内 容	主 催	場 所	参加者
8 月 17 日	大阪府・市町村社会福祉法人制度改革の施行に向けた合同説明会	大阪府	クレオ大阪中央ホール	事務局次長
9 月 16 日	サービス提供の現場から ～組織で虐待を防止する～	法人事務局	身体障害者・老人福祉センター	全職員
9 月 27 日	防犯研修	〃	みきの路	〃
10 月 12 日	防犯研修	〃	身体障害者・老人福祉センター	〃
11 月 11 日	平成 28 年度 理事長・施設長 セミナー（社会福祉法人制度改革について）	大阪府社会福祉協議会	マイドームおおさか	事務局次長
11 月 25 日	平成 28 年度 会計管理者・担当者研修会	〃	大阪社会福祉指導センター	事務局職員
2 月 3 日	平成 28 年度 社会福祉法人の 決算実務研修会	〃	OMMグラン	〃
2 月 24 日	平成 28 年度 社会福祉法人会計 実務者決算講座	全国社会福祉法人経営者協議会	コングレコンベンションセンター	〃
3 月 17 日	SNS 利用のルール ～組織の一員として～	法人事務局	みきの路	全職員

（７）職員の健康管理

職員の健康管理について、全職員に対して健康診断を 7 月末・子宮がん検診を 11 月に実施した。

（８）防災訓練

防災対策計画に基づき、総合訓練を実施した。そして、職員と利用者が迅速に対応できるよう施設ごとに避難・誘導訓練を随時実施し、非常通報装置や消防設備等の定期的な保守点検を実施した。また、昨年発生した、神奈川県相模原市「津久井やまゆり園」での事件を受け、不審者等による犯罪に備えるため、摂津警察署に依頼し、全職員対象の防犯訓練を 2 回実施し、安全管理及び防犯対策の見直しを行った。

(9) 会議等

法人は、機能の異なる施設で構成されている複合施設を運営していることから、施設間の連絡調整を密にし有機的な運営をするため、次のとおり会議等を開催した。

- ・施設連絡会（月2回）
- ・法人行事実行委員会（随時）

(10) 「運動会」の開催

地域交流及び法人事業活動の紹介を目的として、利用者・家族・OB・職員参加の「法人合同運動会」を開催した。

※開催日・場所 10月22日（土）摂津市立三宅柳田小学校

(1 1) 車輛管理状況

施 設		年 式	取得年月日	車 輛	車両番号	年間走行距離 (K m)	所有区分	備 考
1	法人事務局	H18. 1	H29. 3	トヨタ パッソ 乗用車	大阪503 も 60-16	120	法人	H29. 3購入
2	地域生活支援センター 市立みきの路	H22. 3	H22. 3	トヨタ ハイエース 車椅子移動車	大阪800 セ 43-68	5, 483	リース	H29. 3 リース満了
	〃	H29. 3	H29. 3	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪800 そ 15-69	0	法人	日本財団 助成
3	〃	H25. 5	H25. 5	スズキ エブリイ 車椅子移動車	大阪880 あ 22-82	2, 041	リース	
4	〃	H26. 3	H26. 3	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪800 セ 82-94	7, 077	リース	
5	〃	H26. 4	H26. 4	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪800 セ 84-64	6, 282	リース	
6	〃	H27. 3	H27. 3	トヨタ シエンタ 車椅子移動車	大阪503 ふ 58-98	3, 587	リース	
7	地域生活支援センター グループホーム	H14. 4	H14. 4	日産 ウイングロード ステーションワゴン	大阪501 た 90-61	3, 206	市	H29. 3廃車
	〃	H20. 6	H29. 3	ダイハツ タント 軽乗用車	大阪581 な 16-83	243	法人	H29. 3購入
8	〃	H14. 10	H14. 10	日産 リバティ ステーションワゴン	大阪501 な 35-36	3, 797	市	H29. 3廃車
	〃	H22. 3	H29. 3	ホンダ バモス 軽乗用車	大阪581 な 16-82	122	法人	H29. 3購入
9	市立児童発達支援センター	H23. 2	H23. 2	日産 キャラバン 送迎用ワゴン	大阪302 す 43-48	2, 059	法人	日本財団 助成
10	〃	H24. 4	H24. 4	トヨタ コースター 送迎用マイクロバス	大阪200 は 4-90	8, 202	リース	
11	〃	H26. 8	H26. 8	スズキ スクーター 原付バイク	摂津市 A 33-76	603	法人	
12	市立ひびきはばたき園	H23. 3	H23. 3	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪800 セ 51-66	6, 641	法人	日本財団 助成
13	〃	H27. 8	H27. 8	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪830 さ 51-13	8, 089	リース	
14	〃	H28. 2	H28. 2	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪800 そ 3-25	3, 008	法人	日本財団 助成
15	〃	H24. 3	H24. 3	スバル 軽貨物	大阪480 ち 54-84	5, 494	法人	
16	市立身体障害者・ 老人福祉センター	H11. 6	H11. 6	トヨタ ノア 乗用車	大阪500 と 88-52	520	市	H28. 6廃車
	〃	H28. 7	H28. 7	トヨタ シエンタ 車椅子移動車	大阪503む 61-17	1, 619	リース	
17	市障害者職業能力開発センター せつつくすのき	H27. 8	H27. 8	日産 ラフェスタ ステーションワゴン	大阪302 ほ 60-87	4, 975	リース	
18	市障害者総合支援センター	H23. 3	H23. 3	スズキ アルト 軽乗用車	大阪580 ま 4-15	12, 714	法人	日本財団 助成
19	〃	H26. 8	H26. 8	スズキ スクーター 原付バイク	摂津市 A 33-75	2, 218	法人	
20	〃	H26. 8	H26. 8	トヨタ アクア 乗用車	大阪503 は 16-16	2, 510	リース	

2 地域生活支援センター

I 障害者支援施設 「摂津市立みきの路」

(施設入所支援・生活介護・短期入所・日中一時支援・緊急一時保護)

1 施設入所支援・生活介護

(1) 概況

7月26日発生した神奈川県「津久井やまゆり園」の事件は、たいへん痛ましく、強い憤りを禁じ得ない。事件直後、市障害福祉課と連携する中で、当施設についてもハード・ソフト両面から安全管理及び防犯対策の見直しを行った。ハード面では防犯カメラの設置、外部玄関電子錠の増設、防犯セットの配置等、ソフト面では危機管理マニュアルの見直し、摂津警察による防犯訓練、鍵の管理及び整理、来客名簿の作成等に取り組んだ。さらに、市障害福祉課・警備会社と打ち合わせを重ね、新年度からの夜間機械警備導入に向けて取り組んだ。危機管理マニュアルの見直しを機に、マニュアル全般の見直しを図り、新たに災害マニュアルの作成を行った。

支援については、通所・入所・フロアの枠を超えて、障がい特性やニーズ等を考慮したグループ活動を導入して日中活動の充実に努めた。新たな取り組みとして、外部講師による絵画教室も毎週一回実施して、一人ひとりのニーズに沿った活動を提供した。利用者の支援をより効果的・効率的に実施するために、支援ソフトの導入を図った。支援ソフト導入に際し、防災面から記録や情報を管理するサーバーを3階に設置して、全館でインターネットが使えるように環境整備を行った。ノートパソコンの追加とタブレットを導入し、利用者の活動にも広げたいと考えている。新年度に向けて、ひびきはばたき園と生活介護事業や送迎体制等会議を行い、合同送迎運行体制・交流活動・職員交流研修を実施して支援の充実と向上に努めた。

環境整備として、2階風呂場に浴槽を追加設置、大型洗濯機買替え、コピー機入替え等経年劣化する機械・設備の更新を行った。特に、ランニングコストの低いカラーコピー機の導入により機関紙をカラーで印刷し、利用者や家族の皆様から好評を博した。経年劣化によって修繕・改修が各所に必要となり、片づけや整理整頓も含めて積極的に対応して、より暮らしやすく安心・安全な生活環境となるよう施設運営に努めた。

(2) 支援の状況 【施設入所支援 ・ 生活介護（通所）】

■施設入所支援

利用者に、施設入所支援と、平日及び土曜、祝日の日中は生活介護を一体的に提供した。サービスの提供に当たっては、利用者の安全に配慮しつつ、利用者の個人としての尊厳やニーズを尊重し、それぞれの障がい特性、心身の状態に応じて、一人ひとりの利用者が健康で生きがいのある生活を送れるよう、様々な活動や生活支援を行った。

① 個別支援計画

相談支援事業所が作成した「サービス等利用計画書」をもとに、利用者のエンパワメントに着目しながらアセスメントを行い、利用者のニーズや家族のニーズを踏まえ、個別支援計画を作成し支援した。

② 生活支援

居室整理・清掃・洗濯・シーツ交換・布団干し・入浴準備等、生活に必要な支援を行い、清潔に配慮し、生活しやすい環境と住みやすい空間の提供に努めた。

また、利用者の心身の状態に応じた補装具を使用できるよう、補装具の工夫や取換えを行った。

③ 入浴

利用者が、心身ともにリラックスできるよう、週に4回入浴サービスを提供した。利用者の身体の状態に応じ、一般浴と機械浴を利用した。

④ グループホーム体験

グループホームの利用を希望している方（1名）に対し、実際のグループホームでの生活を体験する機会をもった。当法人内の体験と他法人での体験を実施した。また、グループホームでの生活を具体的にイメージできるよう、洗濯や外出の練習を行った。

⑤ 誕生会

月に1度、誕生月の利用者とともに、ケーキを食べながらお祝いをした。

⑥ 理髪

月に1度、摂津理美容組合より1名と、同じく月に1度、美容師の方2名が施設内の理美容室を活用し、利用者の理髪を行った。

⑦ 余暇活動

散歩・買い物・制作・カラオケ・ドライブ・スポーツ等、利用者が楽しくいきいきとした生活を営めるよう、利用者の希望に沿ったレクリエーション活動を行った。

⑧ 健康管理

利用者が、心身ともに安定した生活が営めるよう、看護師を中心に日常的な健康管理を行った。また、定期通院及び、突発的な体調の変化が見られた時は、医療機関を受診し、早期治療に努めた。

(ア) 診察

嘱託医、協力医等の来所による診察を受けた。

嘱託医（精神科）	毎月1回
嘱託医（内科）	毎月1回
精神科・内科医	隔週1回
歯科	毎週火曜日 女性 毎週金曜日 男性
精神科医	毎月2回
鍼灸師	毎週3回

(イ) 健康診断 (医療機関：千里丘協立診療所・場所：1階社会適応訓練室)

(人)

実施日	内容	受診人数
9月23日	身体測定(身長、体重、血圧、腹囲)、血液検査、問診、胸部レントゲン、心電図	30
3月21日	身体測定(身長、体重、血圧、腹囲)、血液検査、問診	14
3月28日		16

(ウ) インフルエンザ予防接種

嘱託医(内科)の往診時に、インフルエンザの予防接種を行った。

(エ) 医療機関受診状況(延人数)

(人)

診療科/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
内科	16	20	15	18	17	14	18	19	19	18	14	14	202
神経内科	2	1	1	1	2	1	1	1		2	2		14
循環器内科	2	3	3	7	1	1	2	2	1	3	2	3	30
外科										1			1
整形外科	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1		10
歯科	89	88	88	105	90	104	88	87	90	89	88	87	1,093
精神科	34	34	34	34	34	34	35	32	22	35	34	34	396
泌尿器科											1		1
皮膚科	8	4	11	10	1	12	3		2	2	1	2	56
肛門科	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
睡眠外来	1		1		1		1		1		1		6
眼科					2					1	1		4
耳鼻科	2		2	2	1			2			1		10
ストーマ外来	1				1			1	1	1	1		6
消化器内科			1		1						1		3
脳神経外科							2	1		1	2	3	9
小児科(てんかん)	1			1			1			1			4
婦人科	1	1	1		1		2				4		10
精神神経科	1		1		1		1		1		1		6
救急外来						2							2
合 計	163	156	163	183	158	172	159	150	142	159	159	147	1,911

■生活介護（通所）

利用者の個人の尊厳やニーズを尊重し、利用者の障がい特性や、心身の状態に応じて、生きがいや、やりがいを感じられる文化的活動や創作活動、身体能力の保持を目的とした身体運動、自立と社会参加を支援する社会適応訓練を実施した。また、給食サービス（昼食）、リフト付きワゴン車（3台）での送迎サービスを提供した。

①個別支援計画

相談支援事業所が作成した「サービス等利用計画」をもとに、利用者のエンパワメントに着目し、住み慣れた地域で生活できるよう、利用者の心身の状態や障がい特性を把握し、利用者や家族のニーズを踏まえて個別支援計画を作成し支援した。

②活動

（ア）個別活動

個別支援計画をもとに、利用者の障がい特性やエンパワメントに着目した個別のプログラムを作成し、身体機能の維持、向上や集中力を高める活動を取り入れた。

（イ）制作

季節感を味わえるよう、季節に応じたガラス扉の制作を行い、利用者の特性に応じて塗る・貼る・切る等の工程を分担して行った。

（ウ）館内清掃

利用者の特性に応じ、役割を決めて施設内の清掃を実施した。

（エ）散歩・外気浴

身体機能の維持、気分転換、運動不足解消等を目的とし、施設周辺や町内、近隣の公園へ散歩に出掛けた。活動時間が少ない時は、施設前のベンチに座り、外気浴を実施した。

（オ）音楽療法

音やリズムを楽しみながら楽器に触れ、リズムに合わせて体を動かす等音楽を通して心身共にリラックスできるよう、音楽療法士のプログラムを提供した。

③入浴

自宅での入浴が困難な利用者に対し、希望される方には、週に一度入浴サービスを提供した。また、利用者の身体状況に応じて、一般浴と機械浴を利用した。

④家族との連携

連絡ノートを利用し、利用中の様子を家族に伝えるとともに、自宅での様子を連絡ノートに記載してもらい、利用者の様子や連絡事項を家族と共有できるようにした。また、利用者の身体の状態を家族に伝え、補装具の調整や、必要なサービス内容の提供、家族からの相談に対するアドバイスを行った。

⑤ 健康管理

利用者の健康状態を把握するため、毎朝検温、血圧測定を行った。健康状態に変化が見られた時は、看護師に相談するとともに、家族に電話で状況を伝え、必要に応じて受診の必要性を説明した。

(ア) 健康診断

病気の早期発見、治療を目的とし、普段病院へ行くことが困難な利用者に対して、希望者に嘱託医による健康診断を実施した。

(人)

実施日	内容	受診人数
9月23日(金)	身長・体重・血圧・腹囲・血液検査(一般)・問診 心電図・胸部レントゲン・検尿	6

(イ) インフルエンザ予防接種

病院へ行くことが困難な利用者に対して、希望者に嘱託医によるインフルエンザの予防接種を実施した。

■ 合同活動

① グループ活動

入所支援、通所支援というフロアごとの日中活動ではなく、全利用者の日中活動の充実、夜間支援と日中支援の差別化、個々の障がい特性や心身の状態に応じた支援の提供を目的とし、平成27年10月より検討を重ねてきたグループ活動を、平成28年5月より、毎週火曜日と木曜日の午後に実施した。

グループは、利用者のニーズや障がい特性に応じ、5つのグループに分かれ、それぞれのグループ担当支援員が、担当利用者の障がい特性等に応じた研修を受けながら、利用者のストレングスを維持・向上できるよう個々の支援を行った。

(ア) 活動内容

- 1 班 …リラックスできる空間を提供し、個々の身体特性に応じたストレッチや外気浴、散歩などを行った。
- 2 班 …自閉的傾向のある方に対し、集中して取り組めるプットイン作業やパズルといった室内での活動や、気分転換や体を動かしてエネルギーを発散できる散歩やドライブなどを行った。
- 3 班 …創作意欲や集中力、達成感を味わえる制作、工作などの手先を使った活動やリズム体操やシャボン玉をしながらの外気浴等、身体機能の維持・向上や精神面の安定を図る活動を行った。
- 4 班 …天気の良い日には近隣の公園に散歩に出かけ、天気の悪い日は室内で体操やレクリエーションをしながら、運動不足の解消や体を動かして心身の健康の維持・向上を意識した活動を行った。

5 班 …花壇で花の栽培や室内で軽作業に取り組む等自立に向けた活動を行った。また、三中フェスタでは、地域の子供達にマスコット作りを教え、交流を図った。

(イ) おやつ作り

グループ活動班ごとに、栄養士と利用者でおやつを作り、午後のおやつの時間に提供した。利用者の障がい特性やニーズに応じ、おやつのメニューを決めた。

(ウ) 音楽療法

利用者の心身の安定や潤いのある生活をめざし、音楽療法士が週に1～2度来所し、グループ活動班ごとに音楽療法を受けた。また、活動がない日は、各フロアで音楽療法を行った。

(エ) ひびきはばたき園との交流

鳥飼体育館で風船バレーボールの練習等各行事に数名の利用者が参加し、利用者間の交流を図った。また、支援員の交流や情報交換を目的とし、平成28年度は、ひびきはばたき園の支援員1名が3階フロアでの支援を1週間行った。

(オ) グループ外出

グループ活動班ごとにメンバーを決め、日帰りの外出を行った。

(人)

実施日	場 所	参加人数
8 月 4 日	エキスポシティ ニフレル	2
9 月 5 日	西河原市民プール	2
9 月 21 日	エキスポシティ ニフレル	2
9 月 27 日	万博記念公園	1
10 月 14 日	若園公園バラ園	1
10 月 26 日	エキスポシティ ニフレル	2
11 月 27 日	舞洲障がい者スポーツセンター	5
2 月 1 日	大日イオン	1
2 月 8 日	〃	1
2 月 21 日	ドリーム 21	4
2 月 23 日	チキンラーメン記念館	10
3 月 2 日	エキスポシティ ニフレル	2
3 月 7 日	〃	5

実施日	場 所	参加人数
3 月 9 日	舞洲障がい者スポーツセンター	2
3 月 16 日	新大阪駅	1
3 月 21 日	長居スポーツセンター	2
3 月 21 日	エキスポシティ ニフレル	2
3 月 22 日	大日イオン	1

②絵画教室

平成28年度より、毎週木曜日に絵画の講師を招き、意欲、感受性、創造力、創作力、表現力といった日頃の生活の中では見出しにくい力を引き出し、精神面の安定や新たなストレスの発見を期待する活動を始めた。

今年度は14名の利用者が参加し、パステル、絵の具、クレパス、ペン、色鉛筆などを使用して作品を作った。その作品は、2月に開催された「つくっ展と輝けコンサート」の会場に展示した。その後は、みきの路の玄関ロビーに展示している。

(3) 定員及び利用状況

①定員及び利用人数

(ア) 利用実人数

■施設入所支援 定員 30 名（男性 15 名・女性 15 名） (人)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
男	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
女	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
計	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360

■生活介護（通所） 契約者数 18 名（定期利用 17 名・不定期利用 1 名） (人)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
男	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	10	140
女	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6	61
計	17	17	17	17	17	17	17	17	17	16	16	16	201

(イ) 利用延人数 (通所)

(人)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
男	203	190	227	212	220	203	209	209	198	190	181	203	2,445
女	98	89	104	99	108	92	99	91	91	88	98	107	1,164
計	301	279	331	311	328	295	308	300	289	278	279	310	3,609
支援 日数	20	19	22	20	22	20	20	20	19	19	20	22	243
平均 人数	15.1	14.7	15.0	15.6	14.9	14.8	15.4	15.0	15.2	14.6	14.0	14.1	14.9

②利用者の状況 (平成29年3月31日現在)

(ア) 年齢

■施設入所支援

(人)

	20 歳 未満	20 歳以上 30 歳未満	30 歳以上 40 歳未満	40 歳以上 50 歳未満	50 歳以上 60 歳未満	60 歳以上	合計
男	0	0	4	9	2	0	15
女	0	1	2	7	4	1	15
計	0	1	6	16	6	1	30

■生活介護 (通所)

(人)

	20 歳 未満	20 歳以上 30 歳未満	30 歳以上 40 歳未満	40 歳以上 50 歳未満	50 歳以上 60 歳未満	60 歳以上	合計
男	0	8	1	3	0	0	12
女	0	3	0	1	1	1	6
計	0	11	1	4	1	1	18

(イ) 手帳の所持状況

■施設入所支援

【療育手帳】

(人)

	A	B1	B2	合計
男	15	0	0	15
女	15	0	0	15
計	30	0	0	30

【身体障害者手帳】

(人)

	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	なし	合計
男	4	0	0	0	1	10	15
女	3	4	3	1	0	4	15
計	7	4	3	1	1	14	30

■生活介護（通所）

【療育手帳】

(人)

	A	B1	B2	なし	合計
男	11	0	0	0	11
女	7	0	0	0	7
計	18	0	0	0	18

【身体障害者手帳】

(人)

	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	なし	合計
男	2	2	1	0	0	7	12
女	3	0	0	0	0	3	6
計	5	2	1	0	0	10	18

(ウ) 障害支援区分

■施設入所支援

(人)

	区分 6	区分 5	区分 4	合計
男	4	6	5	15
女	9	5	1	15
計	13	11	6	30

■生活介護（通所）

(人)

	区分 6	区分 5	区分 4	区分 3	合計
男	5	7	0	0	12
女	2	2	1	1	6
計	7	9	1	1	18

(4) 行事

① 施設行事

実施年月日	行 事 名	対 象 者	備 考
通 年	グループ外出	合同	
5 月 17 日	音楽コンサート	〃	家族参加行事
7 月 18 日	納涼会	施設入所支援 生活介護（希望者）	地域行事
10 月 11 日	運動会（室内）	合同	家族参加行事
11 月 8 日	摂津高校和太鼓コンサート	〃	
12 月 19 日	クリスマス会	〃	

② 各種催し事業参加

実施年月日	行 事 名	対 象 者
5 月 29 日	大阪府障がい者スポーツ大会 （フライングディスク）	施設入所支援
8 月 6 日	摂津まつり	
11 月 13 日	三中フェスタ	
11 月 20 日	輪い輪いまつり	
12 月 11 日	風船バレーボール大会	

③ 法人内行事

実施年月日	行 事 名	対 象 者
10 月 22 日	第 1 回摂津宥和会運動会	施設入所支援
2 月 18 日	つくっ展と輝けコンサート出 展	合同

(5) 防災

- ① 災害時に備えるために、防災設備の点検を行った。

第 1 回目	10 月 14 日
第 2 回目	3 月 29 日

② 利用者参加のもと、避難訓練を3回実施した。

第1回目	6月30日 (火災)
第2回目	9月20日 (地震)
第3回目	3月10日 (火災)

(6) 実習生の受け入れ

実習生として、大阪人間科学大学より2名、大阪成蹊短期大学より2名を受け入れた。

(7) 職場体験

①大阪府立摂津高等学校の授業の一環として、11月24日(木)施設に20名の高校1年生を受け入れ、施設の説明と見学、車椅子の体験を行った。

②摂津市立第三中学校の『職場体験』として、11月17日(木)～18日(金)に2名の中学2年生を受け入れ、施設の説明と見学、実際に支援の様子を見て、利用者と触れ合う時間を設定し、職場体験を実施した。

(8) 職員研修

職員の専門性を高め、より質の高いサービスを提供するため、施設に講師を招く等、職員研修を積極的に実施した。

実施月日	研修名	場 所	主 催	職 種
5月11日	茨木保健所管内集団給食研究高齢者福祉部会	茨木市保健所	茨木保健所	栄養士
6月12日	スヌーズレンセミナー	(社福)協同の苑 もとやま園	日本スヌーズレン 協会	支援員
6月27日	食中毒予防講習会	茨木市福祉文化 会館	茨木保健所	栄養士
7月5日	ファシリテーション研修	大阪社会福祉指 導センター	大阪府社会福祉協 議会	支援員
8月2日	平成28年度 福祉レクリ エーション研修会	〃	〃	〃
8月2日	障がい児者施設課程(主 任クラス)	大阪府社会福祉 会館	〃	〃
8月25日 9月2日	成人施設課程 基礎コー ス	大阪社会福祉指 導センター	〃	〃
9月6日	安全運転管理者等講習会	摂津市立コミュ ニティプラザ	摂津警察署	施設長

実施月日	研 修 名	場 所	主 催	職 種
8 月 19 日 8 月 30 日	強度行動障がい支援者養成研修【基礎研修】	ドーンセンター	大阪府障がい者自立相談支援センター	支援員
9 月 13 日 10 月 5 日		たかつガーデン		〃
10 月 17 日	施設階層別人権研修	大阪社会福祉指導センター	大阪府社会福祉協議会	〃
10 月 27 日 11 月 7 日	成人施設課程応用コース	大阪府社会福祉会館	〃	〃
11 月 8 日	感染症予防対策講習会	クレオ大阪中央	大阪府社会福祉協議会	看護師
11 月 24 日	大阪府障がい者虐待防止・権利擁護研修	ビッグ・アイ	大阪府福祉部障がい福祉室	施設長
11 月 29 日 12 月 19 日	強度行動障がい支援者養成研修【実践研修】	たかつガーデン	大阪府障がい者自立相談支援センター	支援員
11 月 29 日 12 月 19 日				〃
1 月 12 日 1 月 13 日	大阪府相談支援従事者初任者研修（2 日課程）	ドーンセンター	社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会	〃
1 月 10 日 2 月 9 日 2 月 10 日	大阪府サービス管理責任者等研修	ビッグ・アイ	社会福祉法人大阪府障害者福祉事業団	〃

2 短期入所 定員 5 名（男性 3 名・女性 2 名）

介護者の疾病その他の理由により、一時的に居宅での生活が困難となった方や、相談事業所が作成したサービス等利用計画に基づいて利用される方に対し、施設入所支援の日課に沿いながら、個別の支援を提供した。

（1）利用延人数

【成人】

（人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
男	98	63	83	77	107	87	80	89	88	90	71	77	1,010
女	58	55	71	65	64	50	44	31	36	35	31	32	572
計	156	118	154	142	171	137	124	120	124	125	102	109	1,582

【児童】

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3

3 日中一時支援事業

介護者の疾病その他の理由により、一時的に居宅での生活が困難となった方に対し、日帰りでのサービスを提供した。

(1) 利用延人数

【成人】

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	49	48	52	45	52	50	52	46	47	42	45	50	578
女	2	3	1	4	1	3	5	5	1	3	5	7	40
計	51	51	53	49	53	53	57	51	48	45	50	57	618

4 緊急一時保護

平成24年10月に障害者虐待防止法が施行されたことに伴い、平成28年度も摂津市と「緊急一時保護等のための居室の確保（1床）」の覚書を締結し、2名を受け入れた。

Ⅱ 共同生活援助 （グループホーム）

（１）概 況

新規利用者の見学や利用開設時の対応を行うとともに、利用者に対して共同して生活を営む事を通じて、個人の能力を生かしながら、地域社会との接点を持つ事が出来るように支援を行った。また、障害のある人も地域で当たり前に暮らす共生社会づくりを目指して、取り組みを行った。

９月に、定員６名（男性４名女性２名）の「サクラ」（摂津市鳥飼本町）を新たに開設した。

「サクラ」についても、介護サービス包括型グループホームとして運営を行い、対象者も知的障がいだけでなく、精神障がい、身体障がい、難病の方の受け入れを行う旨、大阪府に申請をした。

地域移行を目指す方にグループホームの生活がどのようなものなのかを円滑に体験して頂く機会の場合として、空床を利用して頂いた。地域生活支援拠点等の整備事業に求められる機能として緊急時の受入れについても柔軟に対応した。

グループホーム「サルビア」の入居者については利用変更無く、安定した生活を送られている。

グループホーム「ガーベラ」の就労移行支援を利用していた入居者が、平成２９年３月に就職が決まり、社会人として新たなスタートを切った。担当者会議を重ね、安定した就労環境を維持出来るようにサポートしている。

グループホーム「オリーブ」は女性定員４名で運営していたが、１部屋増床を行い、平成２８年６月１日付けで定員を５名に変更した。

グループホーム「コスモス」は、自治会活動にも積極的に参加した。他の住人との交流を図り、割り振られた役割を担う事で、近隣住民とも良好な関係を保っている。

家族からの要望を受け、家賃等の支払いを自動振替に切り替えた。自動振替にする事で、現金の取り扱い機会を減らし、防犯や事務作業の軽減にも努めた。

世話人が行う書類作成などの事務作業の効率化、簡素化を図り、利用者への関わりや支援の時間に充てた。

また、生活に不便が生じないように、安心安全に生活して頂けるように、営繕に努めた。

サービス向上を目的に、第三者による入居者へのアンケート調査を実施し、支援内容の見直しや支援の質の向上に努めた。

全ホーム統一した栄養管理を目的とし、NP0 法人摂津市人材サポートビューローに委託し７月から試験的に配食サービスを取り入れ、入居者にアンケート調査を行った。結果として配食サービスに切り替える事に肯定的な意見が多く、８月から正式に配食サービスを開始した。配食サービスは月曜日から土曜日の夕食のみで、それ以外の食事は世話人がホームで調理し提供した。

(2) 定員及び利用状況（延べ利用者数）

◎サルビア（利用定員 10 名 女性）

（人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
入居日数	297	302	300	310	291	298	310	298	300	299	280	309	3,594
体験利用日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

◎ガーベラ（利用定員 5 名 女性）

（人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
入居日数	147	146	144	155	152	140	138	126	142	137	134	142	1,703
体験利用日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

◎オリーブ（利用定員 5 名 女性）

（人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
入居日数	30	29	40	106	116	112	111	109	105	99	104	120	1,081
体験利用日数	18	59	90	27	0	0	0	0	0	0	10	3	207

◎コスモス（利用定員 4 名 男性）

（人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
入居日数	60	62	89	115	102	103	113	109	109	108	104	107	1,181
体験利用日数	6	55	23	2	0	0	0	0	0	0	0	0	86

◎サクラ（男性 4 名 女性 2 名）

（人）

	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
入居日数	0	62	93	110	112	108	106	591
体験利用日数	107	94	22	0	3	0	6	232

(3) 入居者の状況（平成 28 年 3 月 31 日現在）

◎サルビア

■年齢構成

（人）

20 代	30 代	40 代	50 代	70 代	合計
4	1	1	3	1	10

■障害支援区分

（人）

区分 2	区分 3	区分 4	区分 5
2	4	3	1

■手帳所持状況

（人）

療育手帳 A	療育手帳 B 1	精神保健福祉 手帳 2 級
6	3	1

■日中活動状況

（人）

生活介護	就労継続 支援 B 型	学校
7	2	1

◎ガーベラ

■年齢構成 (人)

20代	30代	50代	60代	合計
1	1	2	1	5

■障害支援区分 (人)

区分3	区分4
3	2

■手帳所持状況 (人)

療育手帳 A	療育手帳 B 1	療育手帳 B 2	精神保健福祉 手帳2級	精神保健福祉 手帳3級
1	1	1	1	1

■日中活動状況 (人)

生活介護	就労継続 支援B型	就労
3	1	1

◎オリーブ

■年齢構成 (人)

10代	20代	30代	40代
2	1	1	1

■障害支援区分 (人)

区分1	区分2	区分4
1	3	1

■手帳所持状況 (人)

療育手帳 B 1	療育手帳 B 2
2	3

■日中活動状況 (人)

生活介護	就労継続 支援B型	就労
1	1	3

◎コスモス

■年齢構成 (人)

10代	40代
2	2

■障害支援区分 (人)

区分2	区分3	区分5
2	1	1

■手帳所持状況 (人)

療育手帳 A	療育手帳 B 1	療育手帳 B 2
1	1	2

■日中活動状況 (人)

生活介護	自立訓練	就労
1	1	2

◎サクラ

■年齢構成 (人)

10代	30代	40代
1	1	2

■障害支援区分 (人)

区分3	区分4
3	1

■手帳所持状況 (人)

療育手帳 A	療育手帳 B 2
2	2

■日中活動状況 (人)

生活介護	就労継続 支援B型
1	3

(4) 支援の状況

入居者には、平日の夜間及び土日祝日、年末年始はホームで暮らすという事で、個々に必要なサービスを提供した。支援にあたっては、家庭的な雰囲気をも最優先に考え、日常生活において個々のニーズに合わせた自立と社会参加が出来るように、日常生活上の配慮を重点に置いて支援を行った。昼間の活動は生活介護等、日中活動の場を利用して頂き、土日祝日に関しては、移動支援を利用するなど、余暇活動の充実を図った。

また、就労している入居者が増えた事に伴い、茨木・摂津障害者就業・生活支援センターとの連携を深め、会社訪問の機会も設定した。

食事提供には、ゆっくりと良く噛んで、味わって食される等の支援を行った。

(5) 個別支援計画

入居者それぞれの多様なニーズに対応するために、6カ月に1回、アセスメントを行ない、個別支援計画書を作成し、個々のニーズに合わせたサービス・支援を提供した。

相談支援事業所の作成するサービス等利用計画とも整合性を持たせ、サービス担当者会議で入居者の生活状況を情報共有し、個別支援計画に反映させた。

(6) 健康管理

日常より、世話人がバイタルチェックや入居者の方の様子等の把握に努めた。サービス管理責任者への申し送りや、状況に応じての定期受診、その他必要に応じて臨時受診を行った。健康診断についてはそれぞれの日中活動の事業所での受診に併せ、市民検診（乳がん・子宮がん）や歯科検診に同行した。その結果を各主治医に提出し、健康状態の把握に努めた。

定期通院で配慮のいる方については、通院同行を行った。必要に応じて通院等介助の利用で対応した。一人で通院される入居者については、主治医と書面や電話での情報交換を行った。

服薬が不十分な方に対して、誤薬等が無いように世話人で管理をして、声掛けや手渡しを行い、服薬管理に努めた。

服薬ミスが無いように、世話人は声出し確認ときちんと服薬が出来ているかの確認の徹底を行った。

■医療機関受診・往診状況

◎サルビア

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	6	3	4	3	4	3	3	6	11	6	2	4	55
精神科	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	35
婦人科	1	1	1	0	1	0	0	0	1	0	2	3	10
乳腺外来	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
歯科	3	0	3	1	2	0	1	0	2	0	0	3	15
訪問看護	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
合 計	17	11	16	11	14	10	11	13	21	13	11	16	164

◎ガーベラ

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	2	4	4	1	2	3	2	3	2	4	3	3	33
精神科	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	13
婦人科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
歯科	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	5
整形外科	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
訪問看護	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
訪問リハ	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
合 計	13	14	13	11	12	13	11	13	12	13	12	13	150

◎オリーブ

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	0	1	1	2	2	3	3	1	1	1	1	1	17
乳腺外来	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
歯科	0	1	0	0	0	0	2	3	2	2	3	5	18
耳鼻科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合 計	1	2	1	2	2	3	5	4	4	3	4	6	37

◎コスモス

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
精神科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
歯科	0	0	2	4	3	3	2	1	0	0	0	0	15
皮膚科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合 計	1	1	3	6	4	4	3	2	1	1	1	1	28

◎サクラ

(人)

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	2	1	2	1	1	1	0	8
精神科	0	1	1	1	1	1	1	6
歯科	0	0	1	0	0	1	0	2
整形外科	0	0	1	0	0	1	0	2
眼科	0	1	0	0	0	0	0	1
合 計	2	3	5	2	2	4	1	19

(7) 日中活動

日中活動の事業所とは必要に応じて連携を取り、入居者の状況や支援の方向性での情報共有をした。相談支援事業所や医療機関、ヘルパー事業所とも連携し、定期的及び必要に応じて随時、ケース会議を開催した。

新規入居者に対しては、サービス担当者会議の頻度を増やして、緊密な連携体制を構築した。

(8) レクリエーション・行事

初詣や誕生日会、クリスマス会を開催し、コミュニケーションを図った。

10月の法人運動会には全ホームで参加し、運動会後に外食と買い物の支援を行った。

地域の催しとして5月のこどもフェスティバル、8月の摂津祭り、11月の輪い輪い祭りと三中フェスタ、12月の風船バレーボール大会にそれぞれ参加した。

大阪府障がい者スポーツ大会にも参加し、他事業所の方々との交流を図った。

(9) 災害防止・防犯対策

各ホームに災害時の避難場所の確認とハザードマップを活用した危険箇所、災害時の連絡方法を記載した書類を目に付く場所に掲示し、有事の際に円滑に確認出来るように配慮した。

摂津警察署と連携し、不法侵入者への対応やさすまたを使用した防犯訓練を実施した。

夜間支援を行い、夜間の見守りや排泄介助等の個別支援、緊急時の迅速な対応に備えた。夜間巡回の際に、火元の確認等の点検を行った。

(10) 職員研修等

外部講師を招いての虐待防止研修を9月16日に、SNS 利用ルール研修を3月17日にそれぞれ参加した。

サービス管理責任者が大阪府主催の障がい者虐待防止・権利擁護研修へ参加した。

また、摂津市内のグループホームを運営する事業所が介しての摂津市グループホーム事業所連絡会を4ヶ月に1度のペースで開催し、事業所間で法制度の情報共有や、支援困難事例の検討等を行った。それぞれの研修等で得た情報は、各ホームへ伝達研修を行い、スキルアップに努めた。

◎ 研修会

(人)

実施月日	研 修 名	場 所	主 催	参加者
9 月 16 日	虐待防止研修	みきの路	摂津宥和会 講師：くりのみ園管理者 大崎氏	2
11 月 24 日	障がい者虐待防止・ 権利擁護研修	ビッグアイ	大阪府	1
3 月 17 日	SNS 利用ルール研修	みきの路	摂津宥和会 講師：社会保険労務士 板東氏	3

◎ グループホーム連絡会

実施日時	場 所	参加事業所
7 月 11 日	さわらぎさつきはうす	4 事業所
11 月 14 日	バクかふえ	4 事業所
3 月 13 日	バクかふえ	4 事業所

◎ 世話人会議 伝達研修

(人)

実施月日	ホ ー ム 名	参 加 者
4 月 11 日	サルビア	10
4 月 12 日	コスモス	5
4 月 13 日	ガーベラ	6
6 月 23 日	コスモス	6
10 月 3 日	サクラ	7
11 月 20 日	オリーブ	9
1 月 13 日	サクラ	4
3 月 28 日	サルビア	10

3 摂津市立児童発達支援センター

I 児童発達支援センター「つくし園」

(1) 概 況

つくし園は就学前の様々な発達の遅れや課題を有している子どもに対して、保護者の子育て支援・家族支援を行いつつ、子ども個々の発達を促すことのできる環境を提供することに主眼を置いた療育・保育を行った。児童発達支援センターとして、発達に課題のある子どもたちを対象に障がい特性へのきめ細かい配慮を行う『障害児相談支援』、保育所・幼稚園・学校等を訪問し、発達に課題のある乳幼児、児童に対し集団生活への適応のための専門的な支援や教職員に対するアドバイス、その他の必要な支援を行う『保育所等訪問支援』、そして通園を中心とした『児童発達支援』の三つで児童発達支援センターの指定要件であるすべての事業を行っている。また、障がい種別を問わない乳幼児の心身ともに豊かな発達を促す療育を行い、サービスの質の向上を目指して、通園形態・通園時間等の見直しを行いながら、併設されているめばえ園の理学療法士・作業療法士・言語聴覚士との連携を図り、専門性の向上を図った。

進路指導に関しては全利用児を対象にクラス面談及び個別面談で行い、就学を迎える5名については、市教育委員会に園の進路指導に関する取組を理解していただき、対象校区の市内5小学校及び摂津支援学校で保護者見学の機会を設け、対象児の体験入学等を実施し進路決定に繋げた。8月に愛媛県へ転出する利用児について、転出先の相談支援事業所と連携し利用できる施設を決定した。

また、成長発達にとってより良い環境を求め、幼稚園へ3名、保育所へ6名の移行に結びつけ、進路決定後もスムーズに移行できるように進路先の見学・引き継ぎの機会を設け、卒園・修了した14名に対してアフターフォローに努めていく。

(2) 療育の状況

発達の遅れがある園児について障がいの程度や発達段階に応じて集団や個別の方法で療育した。

- ①クラス編成は単独通園クラス2クラスと母子通園クラスの1クラスとし、年齢、発達状況、母子関係を考慮した個別プログラムを立て療育を行った。母子クラスでは単独クラスへの移行を見通して通園形態を変更したり、園児の発達状況に応じたきめ細かな取組を実施した。
- ②食事、排泄、着脱など基本的な生活習慣の獲得をねらい、習慣化による動作の体得や認知面の発達を促し生活のリズムを整えるように援助した。
- ③遊びやいろいろな行事を通して人との関わりを持ち、ことばを育み、心身の豊かな発達を促した。

同一の設定保育で個々の発達状況により課題別にグループ編成をしたり、就学予定児への訓練プログラムも実施した。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士との連携により助言、指導を受けた。

④行 事

実施日	行事名	場 所	参加者 (人)	内 容
4 月 5 日	保育説明会	園 内	園 児 18 保護者等 20	保護者に通園における諸規則、注意事項を説明。
5 月 15 日	日曜参観	園 内	園 児 19 保護者等 51	保護者（特に父親）が療育内容と子どもの様子を知り理解を深める機会とした。

実施日	行事名	場 所	参加者（人）	内 容
7月5日	七夕まつり	園 内	園 児 18 保護者等 6	季節の行事として経験の拡大を図った。
7月24日	夕涼み会	園 内	園 児 22 保護者等 146	児童発達支援センターの利用対象児、OB・OG、保護者、職員の交流を行った。
10月2日	遠 足 (母子クラス)	茨木市立 水尾公園	園 児 8 保護者等 8	母子通園クラスの在籍園児の集団としての活動で、親子で楽しんだ。
10月7日	遠 足 (単独クラス)	万博 自然文化園	園 児 11	単独通園クラスの在籍園児の集団としての活動を楽しみ、経験拡大を図った。
10月14日		摂津市立 三島公園	園 児 5	
10月31日	運動会	鳥飼体育館	園 児 26 保護者等 78	保育の運動面の取り組みについて保護者と成長や課題を確認する機会とした。
12月11日	クリスマス会	園 内	園 児 29 保護者等 28	保護者と一緒にクリスマス会を楽しんだ。
2月3日	豆 ま き	園 内	園 児 21 保護者等 9	季節の行事として経験の拡大を図った。
2月14日	生活発表会	園 内	園 児 27 保護者等 77	一年の総まとめとして子どもたちの発達を保護者と確認し成長の糧とした。
3月16日	お楽しみ会 (単独クラス)	新鳥飼 公民館	園 児 19 保護者等 19	単独通園クラスの在籍園児の集団として最後の活動を行う。カレー作り、ミニ運動会
3月22日	卒園式 修了式	園 内	園 児 25 保護者等 43	卒退園・一年の修了を祝った。

行事については・通常の保育形態で実施する行事 ・季節の行事 ・保護者と協力して実施する行事 ・家族参加の行事に分類される。

園児個々の発達段階を考慮して各クラスあるいは全体での行事として内容を考慮し実施した。園児が安全に楽しめ、力を発揮できる環境を整えるため、職員ボランティア、OB・OG保護者ボランティアの導入により個々の園児にスポットが当たる行事とすることができた。

⑤家庭との連携

園と家庭との連携のため、行事の参加はもとより以下の取り組みを実施し、園児の発達に共通の認識を持ち正しく園児を理解できるよう努めてきた。

項 目	実 施 内 容
家 庭 訪 問	園児の生活基盤である家庭の状況を把握するため入園後に実施した。また必要に応じて実施する。
個 別 面 談	各担当者が母親との信頼関係を築きながら、生活習慣と発達の援助について園と家庭での様子に関する情報交換・課題に取り組み、進路についてなどの内容を主として精神的な援助やアドバイスを行い自己決定できるように促した。 (年4回、その他随時)

項 目	実 施 内 容
ク ラ ス 面 談	各クラスの状況に応じた取り組みや課題設定についての説明。母親がクラスの中で他人の意見が聞けて自分の意見を言えるようになり、互いに協力しあって自己を高めていけるように促した。 (毎月1回)
3 者 面 談	進路の決定や家族の障がい受容に向けて、必要に応じて父親も参加しやすい日曜日に面談を実施した。 (随時)
合同親子保育	全園児、全保護者を対象とした取り組みを行った。2クラス合同で行うことによりクラス間の交流、全体としてのまとまりをねらいとして実施した。午後は、母親教室を実施することが多かった。 (月1回)
単独クラス 親子保育	単独通園クラスの保護者を対象とした取り組みを行った。親子で登園し子どもを見ながら園と家庭との様子の違いなどの情報交換・園と家庭の役割・協力体制を整えることを目的として実施した。 (月1回)
保 育 参 観	計画に基づいての参観は給食参観・日曜参観・生活発表会の事前練習参観を実施した。また、保護者が園での子どもの状態を把握する目的での参観も、随時受け入れた。
連絡ノート	日々の園と家庭での子どもの生活状況・食事内容・健康状態などの伝達手段として、保護者の育児に対する考え・姿勢・問題点を把握し、園の取り組みに対する理解を促し、アドバイスをを行った。 (毎日)
園 だ よ り	近況紹介、新入園児の紹介、月間予定、給食だより（献立表） 連絡事項などの内容で保護者、関係機関に配布 (毎月)

*母親教室

園児の発達に関する学習や講習による技術習得、保護者の悩みの軽減による精神的なゆとりを持つ事等が子育てにとって何より重要であり、以下のとおり実施した。(人)

実施日	テ ー マ	内 容	講 師	参加者
4 月 22 日	保護者間の親睦	グループディスカッション	施設長	16
6 月 24 日	緊急時に対応する 技術習得	消 防 総 合 訓 練 C P C R 実 習	市消防本部	15
9 月 23 日	子どものことば	コミュニケーションの発達 について	言語聴覚士	15
11 月 25 日	からだところ	母のストレッチ	理学療法士	20
1 月 20 日	福祉サービスの利用	卒退園後の事業所利用	施設長代理	18

⑥進路指導

子どもの発達にとって望ましい環境を提供し、スムーズな移行と適応を図るための取り組みとして、就学児については進路説明会を行い、教育委員会を窓口、対象校（地域小学校と支援学校）の見学と体験入学の打ち合わせを行った。学校に体験入学の主旨や、園児の状況に対する理解を促した上で、体験入学を実施し、保護者が進路について十分な理解と検討をした上で、教育支援会議を迎えるという手順を踏んだ。就園（幼稚園、保育所）についても進路説明会を行い、進路先に対する理解を促し、必要に応じ体験入園や一日保育を行った。

(保護者懇談会)

(人)

実施日	内 容	保護者
4 月 15 日	就学児進路説明会	5
6 月 17 日	幼保進路説明会 (年中)	7
6 月 20 日	幼保進路説明会 (年少)	5

(小学校・支援学校小学部)

(人)

実施日	対象機関	内 容	対象児
5 月 17 日	鳥飼小学校	取組説明	1
5 月 19 日	摂津小学校	〃	1
5 月 24 日	鳥飼西小学校	〃	1
5 月 30 日	鳥飼北小学校	〃	1
5 月 31 日	鳥飼東小学校	〃	1
6 月 7 日	鳥飼北小学校	見学	1
6 月 9 日	摂津小学校	〃	1
6 月 14 日	鳥飼西小学校	〃	1
6 月 23 日	鳥飼小学校	〃	1
6 月 27 日	鳥飼東小学校	〃	1
7 月 4 日	摂津支援学校 小学部	見学会	5
8 月 9 日	摂津市 教育委員会	教育相談	5
9 月 30 日	摂津支援学校 小学部	体験入学	5
10 月 11 日	鳥飼北小学校	〃	1
10 月 18 日	鳥飼小学校	〃	1
10 月 24 日	摂津小学校	〃	1
10 月 25 日	鳥飼西小学校	〃	1
10 月 31 日	鳥飼東小学校	〃	1
11 月 24 日	教育支援会議	検討会議	5

(幼稚園・保育所)

(人)

実施日	対象機関	内 容	対象児
1 月 12 日	べふこども園	一日保育	1
1 月 16 日、17 日	子育て総合支援センター保育所	〃	1
1 月 24 日	みなみせんりおか遊育園	〃	3
1 月 30 日	藤森保育園	〃	2

(3) 健康管理

園児の健康状態の把握には常に家庭と連絡をとり、必要に応じて医療機関・保健所との連携に努め、助言、指導を受け療育に活かしてきた。特に衛生状態には細心の注意を払い対応した。日々の取り組みとしては、戸外遊びなどを多く取り入れ、体づくりを行うと共に歯磨き指導や給食時における食事指導による健康づくりを実施してきた。

5月より園庭に日除けネット、ミストシャワー等を設置し、快適な園生活になるように努めた。健康診断は次のとおり実施した。

①内科医健診

健 診 日	6月7日、11月7日
-------	------------

②その他健診、検査

健 診 日	内 容
5月12日	耳鼻科健診
6月4日	歯科健診
5月14日	検尿検査

(4) 給食調理

園児の心身の健全な発育、発達、健康の維持増進、体力の向上を図るため質・量ともに適切な食事を提供することに努め、園児及び園生活の現況に即した給食提供を行った。

給食業務をウオクニ株式会社に業務委託を行い、大量調理マニュアルに沿った衛生管理の充実に努め、月1回の同社の調理員・営業と施設側の施設長・保育士・児童指導員・栄養士で給食会議を実施した。また給食会議とは別に、調理員と施設側の保育士・児童指導員の会議も月1回実施し、喫食状況の把握、園児の状況に配慮し調理形態を工夫した給食提供をした。

家庭との連携のため月1回給食だより・献立表の配布を行った。

(5) 通園児の状況

①通園状況

(延べ人数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
母子クラス 園児数	89	136	138	89	53	82	113	121	108	96	117	129	1,271
単独クラス 園児数	188	184	242	268	280	278	316	284	265	225	349	336	3,215
園児数合計	277	320	380	357	333	360	429	405	373	321	466	465	4,486

②年齢別

(人)

年齢	3才	4才	5才	6才	計
男	6	6	7	4	23
女	1	2	3	1	7
計	7	8	10	5	30

③障がいの状況（原疾患・合併症・診断名）（人）

区分	発達遅滞	染色体異常	自閉症 スペクトラム障害
男	23	0	6
女	7	1	2
計	30	1	8

④療育手帳の所持（人）

区分	A	B1	B2	所持無	計
男	2	5	2	14	23
女	3	0	1	3	7
計	5	5	3	17	30

⑤身障手帳の所持（人）

区分	1 級	2 級	計
男	1	0	1
女	0	1	1
計	1	1	2

⑥進路の状況（人）

区分	保育所	幼稚園	支援学校	地域小学校	計
男	5	1	3	1	10
女	0	3	1	0	4
計	5	4	4	1	14

（6）障害児相談支援

児童発達支援センターの地域支援の一つに位置づけられ、子どもたちの抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援を行った。

①利用状況（人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
身体障がい	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	2	6
重症心身 障がい	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	4
知的障がい	6	4	6	5	6	6	6	16	10	3	1	5	74
発達障がい	4	1	3	4	5	1	4	2	2	1	1	2	30
その他	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3
計	10	6	11	12	13	8	11	18	12	4	2	10	117

②支援内容

(人)

福祉サービスの利用等に関する支援	238	保育・教育に関する支援	49
障がいや病状に関する支援	2	社会参加・余暇活動に関する支援	0
健康・医療に関する支援	0	その他	12
不安の解消・情緒安定に関する支援	12		
家族関係・人間関係に関する支援	3	計	316

(7) 各種会議

施設間及び通園児に対する療育内容の向上と職員間連携をとるため、次のとおり会議を開催した。

1. 施設連絡会議（毎月2回）
2. 行事会議（随時）
3. ケース会議（随時）
4. 家庭児童相談室との会議（判定会議等）
5. 処遇会議（毎日）
6. 給食会議（月1回）
7. 総括会議（年度末）

(8) 災害防止対策

通園児や職員の安全を確保するため、自衛消防体制の確立による災害時の役割分担を周知し、火災を想定した避難訓練・消火訓練（総合訓練を含む）を月に1回実施した。

(人)

実施日	想定災害	訓練内容	参 加 者			
			園児	保護者等	職員	合計
4月14日	火災	避難訓練	15	5	10	30
5月20日	〃	〃	18	7	10	35
6月24日	〃	総合消防訓練	20	19	10	49
7月13日	〃	避難訓練	15	0	10	25
8月26日	〃	〃	18	2	11	31
9月5日	震災	〃	22	6	10	38
10月21日	火災	〃	22	8	10	40
11月18日	〃	〃	24	8	10	42
12月21日	〃	〃	17	0	10	27
1月13日	震災	〃	22	23	10	55
2月24日	火災	〃	26	9	10	45
3月10日	〃	総合消防訓練	27	8	10	45

(9) 防犯安全対策

通園児や職員の安全を確保するため、防犯訓練を実施し環境整備に努めた。安全点検簿を作成し、敷地内の点検を日々行い、事故等の未然防止、危険箇所の把握・改善に取り組んだ。

実施日	参加人数
5月18日	16名

(10) 職員研修

日常の療育活動に必要な知識、技術を習得し、職員の資質を高めるため研修会等へ参加した。

研 修 日	研 修 名	開催場	主 催	職 種
5 月 13 日	相談支援従事者専門コース別研修	大阪市	大阪府	施設長代理
5 月 17 日	指定障がい児支援事業者等集団指導	〃	〃	施設長
5 月 30 日	相談支援従事者専門コース別研修	〃	〃	施設長代理
5 月 30 日	大阪府茨木保健所管内集団給食研究会 総会	茨木市	大阪府	栄養士
6 月 10 日	第 1 回感染症・食中毒予防対策講習会	大阪市	社会福祉協議会	〃
6 月 27 日	第 1 回北摂ブロック栄養士研究会	箕面市	箕面市	〃
7 月 11 日	放課後等デイサービスガイドラインについて	大阪市	大阪府	施設長
8 月 4 日	こども発達支援センターwill 研修①	高槻市	こども発達支援センターwill	主任
8 月 5 日	摂津支援学校公開研修会	摂津市	摂津支援学校	保育士
9 月 6 日	安全運転管理者等講習会	〃	大阪府	施設長
9 月 6 日	こども発達支援センターwill 研修②	高槻市	こども発達支援センターwill	保育士
9 月 16 日	児童福祉施設研修会（食事提供）	堺市	大阪府	栄養士
10 月 11 日	大阪府障がい児等療育支援事業地域別交流会	茨木市	茨木市	施設長代理
10 月 18 日	第 2 回北摂ブロック栄養士研究会	箕面市	箕面市	栄養士
10 月 21 日	ブロック別児童福祉施設給食関係者研修会	姫路市	厚生労働省	〃
12 月 7 日	特定給食講演会	堺市	大阪府栄養士会	〃
12 月 22 日	こども発達支援センターwill 研修③	高槻市	こども発達支援センターwill	保育士

研 修 日	研 修 名	開催場	主 催	職 種
1 月 11 日 17 日 18 日	大阪府相談支援従事者現任研修	大阪市	大阪府	施設長 代理
1 月 23 日	職員のためのアンガーマネジメント 研修	〃	大阪知的障害者 福祉協会	保育士
1 月 24 日	北ブロック保健所管内児童福祉施設 合同研修会	茨木市	大阪府	栄養士
2 月 9 日	保護者研修会の講師	寝屋川市	寝屋川市	施設長 代理
2 月 17 日	第 3 回北摂ブロック栄養士研究会	箕面市	箕面市	栄養士
3 月 1 日	大阪府障がい児等療育支援事業 地域別専門研修	摂津市	大阪府	保育士
3 月 2 日	小児在宅医療支援ネットワーク 研修会	茨木市	大阪府	〃
3 月 13 日	第 4 回北摂ブロック栄養士研究会	箕面市	箕面市	栄養士

(1 1) 施設実習生の受け入れ

児童発達支援センターが地域における社会資源として、外部からの実習生を受け入れた。

実 習 期 間	学 校 名 等	内 容	人 数
8 月 22 日～9 月 2 日	関西福祉科学大学	保育実習	1
9 月 5 日～9 月 16 日	〃	〃	1
2 月 20 日～3 月 3 日	京都光華女子大	〃	1

(1 2) 他機関との連携

①子育て支援ネットワーク推進会議

実 施 日	事 業 名	出 席 者
5 月 9 日、10 月 17 日 2 月 16 日	第五中校区地域教育協議会 役員会	施設長
5 月 23 日	子育て支援ネットワーク推進会議代表者会議	〃
6 月 1 日、3 月 6 日	第五中校区地域教育協議会 総会	〃
6 月 6 日、9 月 16 日 3 月 7 日	地域子育て連絡会実務担当者会議	保育士
7 月 14 日、9 月 8 日 11 月 9 日、1 月 12 日 2 月 9 日	第五中校区地域教育協議会 子育て支援部会	施設長

実 施 日	事 業 名	出 席 者
7 月 21 日	鳥飼地区子育て支援活動担当者会議	保育士
9 月 5 日	子育て支援ネットワーク推進会議 障 害 児 相 談 連 絡 会	施設長 施設長代理
10 月 3 日	オレンジリボンキャンペーンワーキング会議	施設長
10 月 25 日	親子ランド 正雀体育館	〃
11 月 9 日	オレンジリボン街頭キャンペーン	〃
1 月 22 日	第五中校区連携事業 たこづくり・たこあげ・ゲーム大会	施設長他
1 月 23 日	親子ランド in 鳥飼 会議	施設長
3 月 15 日	親子ランド in 鳥飼	施設長 保育士

平成28年度も第五中校区連携事業たこあげ・ゲーム大会は、地域の団体と連携して校区の鳥飼小学校、鳥飼東小学校、第五中学校、とりかい保育園、とりかいひがし遊育園、そして当園の対象児が一堂に会し楽しむ事ができた。

②摂津市児童発達支援事業所連絡会

市内の事業所が集まり連絡会を行う。情報交換、スキルアップを図り、全体的な支援体制を向上させるというねらいで実施する。

実施日	内容	参加事業所	開催場所
7 月 12 日	個別支援計画について	11 事業所	児童発達支援センター

③その他

*摂津市要保護児童対策地域協議会

つくし園在園児の家庭での様子や親子関係から虐待の疑いがある場合は、要保護児童対策地域協議会と連携をとり、情報交換をして子どもの安全に努めた。

*アフターケア

卒園児が就学した小学校へ担当者が出向き、就学先や卒園児保護者からの相談に対応した。また、退園児が入所した保育所にも担当者が出向き、アフターケアを行った。また運動会や発表会等の行事に出向いたり、他機関との接点がある度に、関係者から情報を収集するなどして卒退園児の状況掌握に努めた。

*ボランティア

夕涼み会にて人形劇にボランティアグループのころりんぼっけ4名と野外での演奏に市立第五中学校吹奏楽部29名と千里リコーダーアンサンブル6名の参加を得た。

＊職業体験

市内の中学校の取り組みである職業体験学習を受け入れた。今年度は二校から、それぞれ二年生2名ずつ二日間の体験学習を実施した。

実施日	学校名	参加者
7月 5日、6日	市立第四中学校	男子2名
11月10日、11日	市立第五中学校	女子2名

(13) 保育所等訪問支援

今年度から開始し、様々なケースに対して個々に応じた適切な支援を行った。

実施状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
公立保育所	4	3	4	5	5	5	8	6	5	5	5	5	60
私立保育所	5	4	6	5	6	6	7	4	6	8	8	8	73
公立幼稚園	8	9	8	9	10	10	10	10	9	10	10	10	113
私立幼稚園	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	0	0	7
小学校	5	2	1	1	4	5	2	2	1	2	2	1	28
計	22	18	19	21	26	27	28	23	22	26	25	24	281

(14) 日中一時支援事業

日中一時支援事業（市町村事業）として、障がい児に対し長期休暇や放課後の預かり、保護者のレスパイト支援の一環として、障がい児やその家庭の福祉向上を図るために、日中活動の場として受入れを行った。

利用実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延べ人数	3	5	5	4	3	5	4	16	10	3	8	11	77

Ⅱ 障害児通所支援施設「めばえ園」

(1) 概 況

めばえ園は、児童福祉法による通所利用の障がい児に対する支援を行う身近な療育の場として、未就学児を対象に「児童発達支援事業」、就学児を対象に「放課後等デイサービス事業」を実施した。併設しているつくし園内の利用児の相談支援及び行政機関（保健福祉課、子育て支援課）で受けられたのち、障害児相談支援事業所で作成される障害児支援利用計画書に基づき、理学療法・作業療法・言語療法の訓練領域について、個々の課題に沿う訓練を保護者との連携のもと実施した。心身その他状況に応じて、生活に関する相談及び助言等も行った。また、保健福祉課、子育て支援課からの依頼のケース観察・評価が年間82件、保育所の巡回指導が11件、小学校の巡回指導及び来園相談が29件あった。新たに私立幼稚園からの来園相談が3件あった。各関係機関からの協力依頼に基づき連携・協力を努めた。

めばえ園では今後も摂津市の子どものために関係機関との連携を密にとり、社会や利用者のニーズに応えていけるよう更なるサービスの向上を図っていく。

(2) サービスの状況

① 理学療法

グループ訓練と個別訓練を発達段階に応じて実施した。グループ訓練では保護者指導もかねて、母子で訓練を行った。利用児への対応と発達段階の認知など、子どもが学習をして発達していく段階をスムーズに認知できるよう促した。個別訓練では感覚、運動レベルの機能障害に対しての訓練指導のみならず、利用児を取り巻く生活環境や家族関係等への指導助言も、丁寧に行い、訓練と共に成果をあげた。

② 作業療法

知覚、認知、概念の学習や日常生活動作指導、手指機能訓練を主として行った。利用児を取り巻く生活環境や生活場面での状況に応じて、指導助言も丁寧に行い、訓練指導によって行動の安定、集中力の強化、コミュニケーションの拡大などにつながり、場面適応が改善されてきた。グループ訓練と個別訓練を、発達段階に応じて実施した。

③ 言語療法

口腔器官、聴覚器官だけの障害でなく、それらを制御する中枢器官に問題のある場合が多い中で早期治療が行われる事によって、伝達、思考、記憶への発達面の援助を行ってきた。

④ グループ訓練

児童発達支援事業として母子ともに、めばえ園を利用しての日中活動が必要なケースに対し、グループ訓練を実施した。対象児は「目と手の協応・運動の協調性などに課題をもち、小集団でのきめこまやかな援助・指導を必要としている幼児」で、発達的な課題のみならず、環境的な要因からくる課題や、能力的なばらつき等も「障がい」とみなし、利用する子どもも「障がい児」としてサービス提供をしてきた。

⑤ 送迎サービス

利用児の利便性向上のためニーズに応じて送迎サービスを実施した。

⑥ 障害児通所給付費支給申請の援助

障害児通所給付費の支給期間終了を迎え、継続が必要な利用児の支給申請についての援助を行った。

⑦ 行 事

(人)

実施日	行事名	場 所	参 加 者	内 容
7 月 22 日	夕涼み会	園内	利用児 6 保護者等 8	めばえ園の利用対象児、O B・OG、保護者、職員の 交流を行った。
8 月 5 日	夏休みことばの 相談室 ①	めばえ園	利用者 5	夏休みを利用して家庭児童 相談室業務に言語聴覚士を 派遣した。
8 月 17 日	夏休みことばの 相談室 ②	子育て総合 支援センター	利用者 5	
3 月 17 日	春休みことばの 相談室 ①	めばえ園	利用者 5	春休みを利用して家庭児童 相談室業務に言語聴覚士を 派遣した。
3 月 22 日	春休みことばの 相談室 ②	子育て総合 支援センター	利用者 5	

⑧ 家庭との連携

園と家庭との連携において、訓練には母子で来園することにより利用児への対応と発達段階をより理解し、子どもが学習し発達していく過程をしっかりと受容できるよう促すと共に、共通の認識を持ち正しく利用児を理解できるよう努めてきた。

毎月 1 回施設だよりを掲示し、必要に応じた電話連絡等により家庭との連絡を取り合ってきた。

⑨ 関係機関との連携

就園、就学した利用児について、受け入れ機関との連携により担当者が訓練場面の見学のために来園したり、こども教育課の春・秋期の保育所巡回指導で理学療法士と作業療法士が同行して、助言や意見交換を行うなどした。つくし園児の進路指導においても、必要に応じて助言をした。

また、訓練に双方の職員が入り意見交換を行うなど、利用児がつくし園に入園した場合、常時連携に努めた。

(保育所 巡回指導)

実 施 日	対 象 機 関
5 月 19 日、9 月 30 日	私立 とりかい保育園
5 月 25 日、10 月 25 日	正雀保育所
5 月 26 日、10 月 13 日	私立 せつつ遊育園
6 月 3 日、10 月 24 日	べふこども園
10 月 20 日	私立 つるのひまわり保育園

実 施 日	対 象 機 関
10 月 27 日	私立 一津屋愛育園
11 月 2 日	私立 鳥飼さつき園

(来園相談・見学)

実 施 日	対 象 機 関
4 月 28 日、8 月 4 日 8 月 10 日、11 月 25 日	別府小学校
5 月 17 日、8 月 5 日 10 月 21 日、10 月 24 日 11 月 7 日、11 月 11 日	摂津小学校
8 月 30 日、10 月 7 日 10 月 27 日、11 月 16 日	鳥飼西小学校
9 月 5 日、10 月 18 日 11 月 10 日、11 月 21 日	味舌小学校
9 月 7 日、12 月 22 日 3 月 6 日、3 月 24 日	鳥飼東小学校
9 月 30 日、11 月 24 日 11 月 25 日	三宅柳田小学校
12 月 16 日	千里丘小学校
2 月 1 日、3 月 9 日	鳥飼北小学校
2 月 6 日	鳥飼小学校
6 月 14 日	私立 こまつ幼稚園
8 月 18 日	私立 摂津ひかり幼稚園
10 月 12 日	私立 岸部敬愛幼稚園

(他機関との会議 等)

実 施 日	内 容
9 月 3 日	障害児相談連絡会

(3) 健康管理

利用児の健康状態の把握には常に保護者と連絡調整を図り、必要に応じて医療機関・保健所との連携に努め助言・指導を受け訓練に活かしてきた。特に衛生状態には、細心の注意を払い対応した。

(4) 通園児の状況

(人)

月別	開所日数	就学児	未就学児	合 計
4	19	50	61	111
5	19	45	80	125
6	22	58	103	161
7	20	63	90	153

月別	開所日数	就学児	未就学児	合 計
8	18	67	80	147
9	19	58	103	161
10	20	55	109	164
11	20	50	116	166
12	19	52	110	162
1	19	42	117	159
2	20	31	128	159
3	22	46	122	168
合計	237	617	1,219	1,836

(5) サービス別の利用状況

(人)

	サ ー ビ ス 別								観察	つくし 個別 指導	延人数
	理学療法		作業療法		言語療法		グループ 訓練				
	放	児	放	児	放	児	月	水			
4	15	12	35	30	0	0	0	16	10	3	121
	27		65		0						
5	14	11	31	36	0	0	0	23	3	10	128
	25		67		0						
6	15	12	33	42	10	4	0	33	7	12	168
	27		75		14						
7	15	8	35	43	13	3	0	26	0	10	153
	23		78		16						
8	17	5	41	45	9	4	0	17	12	9	159
	22		86		13						
9	22	11	29	48	7	14	0	21	13	9	174
	33		77		21						
10	18	12	29	54	8	12	0	21	7	10	171
	30		83		20						
11	15	10	25	55	10	19	0	23	6	9	172
	25		80		29						
12	18	9	23	54	11	15	0	23	7	9	169
	27		77		26						
1	17	10	19	60	6	15	7	16	6	9	165
	27		79		21						
2	11	5	15	66	5	13	5	24	11	15	170
	16		81		18						
3	15	7	21	65	10	15	5	16	0	14	168
	22		86		25						
合計	192	112	336	598	89	114	17	259	82	119	1,918
	304		934		203		276				

※「放」…放課後等デイサービス、「児」…児童発達支援事業

(6) 各種会議

施設間及び通園児に対する療育内容の向上と職員間連携を図るため、次のとおり会議を開催した。

1. 施設連絡会議（毎月2回）
2. めばえ意見書会議（年2回）
3. 家庭児童相談室との会議（判定会議、随時）
4. 行事会議（随時）
5. 処遇会議（毎日）

(7) 災害防止対策（つくし園と同様）

利用児や職員の安全を確保するため、自衛消防体制の確立による災害時の役割分担を周知し、火災を想定した避難訓練・消火訓練（総合訓練を含む）を月に1回実施した。

(8) 防犯安全対策（つくし園と同様）

通園児や職員の安全を確保するため、防犯訓練を実施し、環境整備に努めた。安全点検簿を作成し、敷地内の点検を日々行い、事故等の未然防止、危険箇所の把握・改善に取り組んだ。

(9) 職員研修

日常の療育活動に必要な知識、技術を習得し、職員の資質を高めるため研修会等へ参加した。

研 修 日	研 修 名	場 所	主 催	参 加 者
8 月 23 日	大阪医大LDセンター研修	高槻市	大阪医大LDセンター	作業療法士

(10) その他（施設実習生の受け入れ）

(人)

実 習 期 間	学 校 名 等	内 容	人 数
2 月 6 日～7 日	兵庫医療大学リハビリテーション学部 作業療法学科	作業療法実習	2

(11) 講師として

月 日	内 容	講 師
5 月 2 日	摂津市保健師・栄養士へ箸の持ち方講話	作業療法士
7 月 27 日	第3回 支援教育研修	〃
2 月 14 日	子育て支援ネットワーク推進会議 子育て講座	理学療法士

4 摂津市総合福祉施設「ふれあいの里」

I 多機能型事業所 「摂津市立ひびきはばたき園」

(1) 概 況

ひびきはばたき園では、総合支援法に基づく多機能型事業所として、生活介護・就労移行・就労継続支援 B 型と地域生活支援事業の移動支援・日中一時支援の各事業を実施した。

今年度は、29年度から事業実施するみきの路との相互乗り入れ体制で行うドアツードアや春・夏期休暇の廃止や、新規事業の自立訓練（生活訓練）を実施するために法人内や障害福祉課とも協議を重ねた。

また、サービス向上委員会と虐待・権利擁護委員会を発足し、利用者の苦情・要望・満足度の把握に努め、そのニーズを支援に反映させる取組みを行った。また、職員の専門性を高めるために資質向上・人材育成のため研修制度の見直し・充実に努めた。

今年度は、環境業務課・障害福祉課の協力のもと「小型家電リサイクル事業を10月より本格実施し、利用者の働く場を提供し、更なる就労拡大や工賃の向上などの充実に努めた。

その他、施設運営の透明性の確保と福祉サービスの質の向上を目指し、平成29年1月末に大阪府社会福祉協議会の実施する福祉サービス第三者評価を受審した。その評価概要の特に評価の高い点として、『課題について組織的な対応によって必要な改善に努めており、総体的に評価レベルが高くなっている。パソコン解体作業は、社会貢献的な意味合いを持っている。全国規模のネットワークが拡がりつつあり、成長・発展性のあるものとして高く評価できる。』、改善を求められる点としては、『マニュアルや個別支援計画等の仕組みについて、見直しの手順を明確にして、PDCA サイクルを確立していくことが求められる。』と評価を受けた。今後も施設の強み・弱みを正しく理解しより良い利用者サービスに努めていく。

(2) 支援の状況

■生活介護

生活介護では、利用者一人ひとりに応じた、専門的知識・技術に基づく「日中活動の場」を提供し、安全性の確保や園内支援の充実に重点を置いた取組みを実施した。その中でも、生産活動と園外活動については、内容を検討し充実に図った。そして、支援体制は、個別支援計画を基に5クラスに編成し療育活動、作業訓練、生活支援を中心にした活動を行った。個別性を重視し、また、本人のニーズを優先しながら個別支援計画を作成し、それに基づいたサービス提供を行った。

①個別支援

多様化した個別のニーズに応じるため、個別支援計画の作成、個別アプローチ、個別に応じたサービスを提供した。また、緊急時の対応については、状況に応じて適切な支援を行った。

②支援者づくり

障がい者の『自立』には、支援者は必要不可欠である。一人でも多くの理解者や、サポートを得るために積極的にボランティアを受け入れ、公的な制度サービスの活用に努めてきた。

平成24年2月に、当園が移動支援事業「てくてく」を開始して以降、積極的にガイドヘルパーの利用を促してきた。併せて、家族に対しても制度サービスの利用について働きかけた。

③日中活動の充実（療育機能・作業訓練・生活支援）

個別支援を基本とし、個別プログラムの充実や安全面の確保から、今までの活動内容・障がい程度を基準にしたクラス編成を行い、いきいき・わくわく・うきうき・のびのび・かがやきクラスの5クラスに編成し、個別プログラムに合わせた活動を行った。

また、理学療法士による、機能維持訓練や必要な利用者にはリハビリテーション実施計画書の作成、また、支援員への指導を行い日中活動の充実を図った。

そして、音楽療法とおやつ作りを引き続き実施した。音楽療法士による音楽療法は、音楽が持つ効果を活用して楽しく心身の健康・維持・向上を目指した。

おやつ作りでは、小グループで簡単な調理を経験し、食への興味や生活に活かす力を育むように取り組んだ。（全8回）

かがやきクラスでも、音楽療法を月4回、調理訓練を月3回実施した。また、講師派遣によるパソコン教室を実施した。

（ア）いきいきクラス

理学療法士の指導による、機能回復・維持訓練やリラクゼーション活動・リラックスタイム・気候に応じた外気浴など、ゆとりを持ったプログラムを設定し、基本的生活習慣の獲得・向上を目指した。

（イ）わくわくクラス

集団を意識しながら、個人に応じた作業を取り入れ、和紙作業、制作活動・レクリエーションなど、個別の活動を行った。

（ウ）うきうきクラス

個別の課題に応じた作業を取り入れ、和紙作業、運動・散歩・レクリエーションなど情緒面での安定を得ることで、集団を意識できる活動を行った。

（エ）のびのびクラス

作業の導入が必要な利用者に対して、和紙作業を通して生産活動を行ったり、制作活動・レクリエーションなどの集団を意識できる活動を行った。

（オ）かがやきクラス

利用者の健康維持管理に努め、理学療法士による機能回復・維持訓練を個別に実施した。音楽療法・調理訓練や作業療法・集団体操など多彩なプログラムを提供するなか、個々に応じた活動を実施した。

④生活支援

利用者一人ひとりのニーズに応えるために個別支援計画（6ヶ月ごとに見直し）をもとに個別へのアプローチ、個々に応じたサービス支援を行った。緊急時の対応としても、その場その場で必要に応じた適切な支援を行った。

■就労移行支援・就労継続支援B型

就労移行支援では、日々の訓練で「就労する」素地を育み、就労活動・求職活動に積極的に取り組んだ。その結果、今年度は3名の就労が決定した。また、就労継続のためのきめ細かな職場定着支援にも取り組んだ。その他、ハローワーク、茨木・摂津障害者就業・生活支援センター、せつつくすのき等の関係機関とも、昨年同様に連携を強化した。

就労継続支援B型では、障がい者の働く場と位置づけ、安定したサービスの提供を基本に、「障がい者の自立へ向けての支援」に取り組んできた。また、積極的な働きかけにより、官公需要や地域の企業からの作業受注により作業指導の活性化を図った。さらに、作業資材の入出荷、製品の配達や材料等購入などに利用者を同行させることで、社会との関わりを深める支援を行った。(株)ダイキンサンライズ摂津から受注した電気部品のコード巻き作業では、細かな点検や正確で安定した作業を評価いただき、品質功労賞を受賞した。

その他、市からの業務委託事業（食品トレー選別作業）に8名の利用者と職員で従事した。施設外就労として、就労移行支援利用者と就労継続支援B型利用者の訓練資源の一つとしても活用することができた。

小型家電リサイクル事業を、環境業務課・障害福祉課の協力の下、平成28年10月より開始した。パソコンの解体に取り組む事で、作業内容の幅が広がり、充実した作業の提供ができた。

①作業指導におけるクラス体制と還元金の配分

今年度も窯業・園芸作業と軽作業の2クラス体制で取り組む中で、固定したクラス配置ではなく課題に沿った訓練資源の利用を行い、個別支援計画（就労移行支援は3ヶ月ごと、就労継続支援B型は6ヶ月ごとに見直し）に沿った支援を実施した。軽作業部門では3業種の作業を行い、定期的に園芸作業等も取り入れた。個別支援を充実させながら、作業量の拡大により安定した還元金の配分にもつながった。

②生活支援プログラムの充実

定期的なプログラムとしては、利用者の個別ニーズに即した内容（自治会・情報提供・運動）を実施した。

③主体性、自己決定の尊重・支援とエンパワメントを重視した支援

生活支援プログラムの中で自らの考えや思いを表現・実現できるように支援した。

④家庭生活、地域生活支援

利用者個別の家庭生活支援や地域生活支援を個別支援計画に基づいて実施した。

また、個々の事情により生活全般の支援が必要な利用者については、家庭訪問や障害福祉課や相談支援事業所と連携しながら家庭生活支援を行った。

前年度に引き続き、家族からの支援が望めない諸事情のある利用者について「一人暮らし・自立」への全般的な地域生活支援を実施した。また、障害者福祉課・生活支援課・相談支援事業所・その他関係機関と連携を強化しつつ、当園が軸となって支援を推し進めた。その他、「健康で安心・安全な生活が送れるよう」通院支援も実施した。

⑤ボランティアや実習生の受け入れ

社会福祉活動への一般の方の関心や参加が増加している中、ボランティア受け入れの理念統一とシステムの整備、啓発を続けてきた。実習生の受け入れについても教育への協力と捉え、積極的に受け入れてきた。

⑥その他

施設支援計画や機関誌など、利用者への情報提供や案内文等には平易な表現やひらがなやルビ、写真を使用、また苦情解決システムの充実に努めた。

⑦作業指導

■就労移行支援

- ・ 窯 業 市主催事業の記念品などの大量注文を中心に、楽土市やバザーへの出店のための製品作りや干支の置物製作・販売も並行して行い、幅広くさまざまな陶器の受注製作をこなした。また、就労継続B型の利用者が、干支作業の一部に取り組むことで、作業の連携も図った。
- ・ 園 芸 ふれあいの里の一角を園芸用地とし、季節に応じた野菜や花を栽培し、ふれあいの里利用者の方々やバザーで販売した。また、園芸作業の経験を生かし、ふれあいの里内の草木の環境整備も担った。

■就労継続B型

- ・ 軽作業 株式会社ダイキンサンライズ摂津の電気部品のコード巻き作業と、サンキョーサポートからの建材電気設備部品等の作業を受注した。また、不定期作業として障害福祉課より「障害者週間」の啓発のカイロの袋詰め作業などを行った。また、毎月1回、建設会社からのダイレクトメール袋詰め作業にも取り組んだ。作業量が安定したことで、利用者一人ひとりが役割と目標をもって取り組むことができた。
- ・ 食品トレイ選別作業 摂津市内から集められた食品トレイを、分別・選別を行い、リサイクルとゴミに分けた。施設外就労を行う事で、利用者の経験拡大に繋がり、リサイクルへの意識も向上した。
- ・ 小型家電リサイクル作業 主にパソコンを解体し、鉄・アルミ・ステンレスそして、金・銅・パラジウム等の希少金属（レアメタル）を取りだし、作業の充実だけでなく、工賃の向上にも繋がった。

⑧就労活動・求職活動

■就労移行支援

(人)

実 施 日	内 容	参加者
4 月 18 日 ～5 月 9 日	大阪染工株式会社 実習	1
6 月 7 日	高槻市雇用促進フェア 障がい者合同就職面接会	1
9 月 2 日	ハローワーク茨木へ求職活動	6
9 月 7 日	〃	2
9 月 12 日 ～9 月 13 日	株式会社サポート 21 たのしい家大隅 実習	1
9 月 21 日 ～9 月 28 日	株式会社くらコーポレーション摂津店 実習	1
11 月 18 日	ハローワーク茨木へ求職活動	1
11 月 22 日	茨木市障がい者就労支援フェア合同面接会	1
12 月 26、27 日	フラワーショップ林 実習	2
3 月 6 日 ～3 月 10 日 3 月 21 日 ～3 月 31 日	大阪染工株式会社 実習	1
3 月 13 日 ～3 月 17 日	〃	1

⑨生産活動

(ア) 作業種目別収入状況

(円)

就 労 移 行 支 援	内 容	年間収入	事業所
	陶芸作業	405,150	
	園芸作業	59,810	
	清掃作業	170,100	株式会社セラ
	バザー、記念品等	609,361	
	空缶・古紙回収	58,374	
	食品トレイ選別作業	1,363,910	環境業務課
	収 入 合 計	2,666,705	※預金利息は含まない

(円)

就 労 継 続 支 援 B 型	内 容	年間収入	事業所
	電気部品の加工作業	414, 240	(株)ダイキンサンライズ摂津
	建材電気設備部品作業	690, 524	サンキョーサポート
	1 0 0円ショップ商品 梱包	48, 758	(株)アイールコーポレーション
	ティッシュ袋詰め	12, 000	産業振興課
	うちわ作業	24, 000	N P O 法 人 摂 津 市 サ ポ ー ト ビ ュ ー ロ ー
	〃	7, 370	第 5 回わいわいガヤガヤ祭り
	使い捨てカイロ袋詰め	33, 000	障害福祉課
	建設会社DM作業	197, 500	エッグ住まいる工房
	小型家電解体作業	235, 566	摂津市役所、一般持ち込み等
	食品トレー選別作業	6, 823, 455	環境業務課
	収 入 合 計	8, 486, 413	※預金利息は含まない

(イ) 作業収入状況

就労移行支援

(単位：円)

月	工賃収入	工賃支出	一人当たり	作業日
4	98, 460	13, 805	3, 451	19
5	126, 060	14, 256	2, 851	19
6	63, 721	17, 982	3, 596	22
7	48, 780	22, 253	3, 709	20
8	15, 124	22, 320	3, 720	21
9	388, 600	24, 780	4, 130	19
10	38, 898	17, 200	2, 867	19
11	89, 420	15, 805	3, 951	20
12	272, 376	11, 429	2, 857	19
1	99, 650	13, 579	3, 395	19
2	16, 884	15, 051	3, 763	20
3	44, 830	14, 513	3, 628	20
一 時 金	8 月 (3 カ 月)	46, 843	7, 807	
	12 月 (4 カ 月)	62, 268	15, 567	
	3 月 (6 カ 月)	80, 292	20, 073	
合計	1, 302, 803	392, 376	85, 365	237

就労継続 B 型支援

(単位：円)

月	工賃収入	工賃支出	一人当たり	作業日
4	122,389	60,750	3,797	19
5	136,423	62,000	3,875	19
6	96,130	65,528	4,096	22
7	98,126	65,196	4,075	20
8	91,967	65,031	4,064	21
9	112,950	66,125	4,133	19
10	107,630	71,625	4,477	19
11	191,336	72,914	4,557	20
12	149,036	71,125	4,445	19
1	115,928	66,250	4,141	19
2	141,954	67,927	4,245	20
3	289,644	69,708	4,357	20
一時金	8 月 (4 カ月)	253,889	15,868	
	12 月 (3 カ月)	206,625	12,914	
	3 月 (5 カ月)	410,546	25,659	
合計	1,653,513	1,675,239	104,703	237

* 食品トレ選別作業

(単位：円)

月		工賃支出	一人当たり	作業日
4	@710×時間	708,935	88,617	20
5		684,440	85,555	19
6		783,130	97,891	22
7		725,265	90,658	20
8		734,495	91,812	21
9		658,525	82,316	19
10		613,440	76,680	19
11		685,505	85,688	20
12		591,075	73,884	19
1		630,835	78,854	19
2		674,500	84,313	20
3		697,220	87,153	22
合計		8,187,365	1,023,421	240

※作業日については、行事等を含まない。

(3) 行 事

行事指導は、系統だてられた生活指導の一環として位置付け、種々の生活場면을導入し、レクリエーション的要素・学習的要素を含む取組みにより知識・経験の拡大を図った。

■生活介護・就労移行支援・就労継続支援 B 型

(人)

実施日	行事名	場 所	参加者	内 容
10 月 22 日	摂津宥和会 運動会	市立三宅柳田小学校	利用者 生介 26 移行 4 B型 17	法人内の施設の利用者・OB とボランティアが参加の運動会
12 月 11 日	風船バレーボール大会	〃	利用者 生介 16 移行 2 B型 12	市・市身体障害者福祉協会主催。休園日であるが、希望者で参加した。
12 月 22 日	ジャンボ クリスマス会	身障老人福祉センター 集会室	利用者 生介 27 移行 4 B型 23	大阪人間科学大学人間科学部子ども福祉学科「チーム スイミー」による演奏をした。
2 月 18 日 ～2 月 20 日	つくっ展と輝けコンサート	市立コミュニティプラザ	利用者 生介 25 移行 2 B型 23	作品の成果発表の場として、また、地域との交流や福祉の啓発、そして、相互理解を目的とする。

■生活介護

(人)

実施日	行事名	場 所	参加者	内 容
6 月 23 日	懇親会	作業室 C	利用者 24 家 族 13	利用者・家族・職員が一同に会して、コミュニケーションを図り、音楽療法を楽しんだ。
6 月 2 日	園外活動	ジュメイラオアシスカフェ	利用者 1	園外に出ることで社会性を高め、日常生活では得ることの出来ない体験を味わうことを目的とする。
6 月 24 日		太陽が丘	利用者 2	
7 月 5 日		市立西河原市民プール	利用者 4	
7 月 8 日		〃	利用者 4	
9 月 9 日		摂津峡	利用者 5	
10 月 17 日		レストランメイブーム	利用者 3	
10 月 25 日		阪急エキスポパーク・プール	利用者 2	
11 月 10 日		〃	利用者 3	
11 月 18 日		エキスポシティ	利用者 3	
1 月 13 日		ジュメイラオアシスカフェ	利用者 2	

実施日	行事名	場 所	参加者	内 容
1 月 24 日	園外活動	サンマルクカフェ	利用者 2	
3 月 14 日	スプリング フェスタ	作業室 C	利用者 22 家 族 13	1 年間の終わりに利用者・家族・職員が一同に会して、家族とのコミュニケーションを図った。

■生活介護かがやき

①食事会

(人)

実施日	行事名	場 所	参 加 者	内 容
6 月 1 日	食事会	旧琵琶湖ホテル びわ湖大津館	利用者 4	園外に出て、食事を 楽しむことで、潤い のある園生活を送る ことを目的とする。
6 月 7 日			利用者 4	
6 月 20 日			利用者 3	

②社会見学

(人)

実施日	行事名	場 所	参 加 者	内 容
11 月 17 日	社会見学	アサヒビール大山崎 美術館	利用者 5	日常生活で、外出が 困難な利用者が園外 に出て、経験の枠を 広げて、潤いのある 園生活を送ることを 目的とする。
11 月 22 日			利用者 5	
11 月 30 日			利用者 4	

■就労移行支援・就労継続支援 B 型

(人)

実施日	行事名	場 所	参 加 者	内 容
10 月 7 日	体験学習	寝屋川市野外活動センター	利用者 移行 7 B 型 22	自然に触れチーム ワークの大切さを学 び、食べることの 大切さを学ぶことを 目的とする。

(4) 家庭との連携

■生活介護・就労移行支援・就労継続支援 B 型

定例的な個別面談や家族会などにとどまらず、必要に応じて個別面談や電話による情報交換などを行った。

項 目	実施日	内 容
個人面談 家庭訪問	随 時	個別支援計画（生活介護・就労継続支援 B 型は年 2 回・就労移行支援は年 4 回以上）の説明と同意を得た。 個別のケースについて必要に応じて個別に面談や家庭訪問を実施することで本人や家族の声を聞き、受容し、信頼関係を築き、問題解決を図った。

項 目	実施日	内 容
家族会	5 月 19 日	新入利用者紹介、新年度役員紹介、新年度支援体制・支援方針・年間行事計画、近況報告等について
	12 月 14 日	年末の大掃除
	1 月 25 日	春期・夏期休暇について、生活介護ドアツードア、新規事業（自立訓練・小型家電リサイクル事業）について
機関紙	毎月 1 日発行	当月の予定や利用者の全般的な様子を掲載し、毎月 1 日に発行した。
月課表	毎月 1 日発行	当月の予定を配布した。
連絡帳	毎 日	毎日の連絡帳を通じて、利用者の健康状態・家庭での様子・検温・排泄時間・意見等家族とのコミュニケーションを図った。 (生活介護のみ)
電話連絡	随 時	最も迅速かつ正確な連絡方法であり、即対応しなければならない場合に実施した。
その他	適 時	家族の都合により、9 時から 17 時の間で一時預かりをする。 登園時間外は、自力での登降園となる。

①ショートステイ先との連携

今年度は、ご家庭の事情等によりショートステイや日中一時を希望される利用者に対しての支援として、ショートステイ先に、利用の際には利用者の様子を引き継いだ。また、各事業所とも必要に応じて引継ぎや調整、送迎等の支援を適宜行った。

②医療との連携

個別に応じて、家族の依頼に基づき円滑な通院ができるように、情報提供や病院との連携を行った。

③福祉事務所との連携

市施策や園運営・支援状況、市内障がい者福祉情勢等の情報交換を行い、利用者ニーズに十分応えられるよう、随時連絡体制を確保した。

④その他

入所前より詳細な生活内容や発達歴、各種サービスの利用を把握するために支援学校より引継ぎや助言を求めた。また、希望者については円滑な入所ができるよう、事前に進路選択等事業を利用し実習や受け入れを行った。

(5) 法人内他施設との連携

・就労支援機関事業所連絡会

摂津市障害者職業能力開発センター セットくすのきと茨木・摂津障害者就業・生活支援センターの三施設で求人や就労活動の情報提供を密に行い円滑な支援ができるように連携を図った。

(6) 健康管理

今年度も感染症予防のため、インフルエンザ、病原性大腸菌O-157、ノロウイルスの感染拡大を防止するため手洗いを励行し、健康状態の把握に努め、家庭と園の連携で健康管理を図ってきた。

看護師の来園（月2回）時、薬品の整理や使用方法、健康面・衛生面での助言・資料提供等を受け、「保健だより」を発行して、より利用者が快適で安全な園生活を送ることができるよう反映した。

また、利用者個人の健康管理面において、看護師の助言・指導によって、問題のある利用者や家族との懇談にも加わり専門的な立場からの助言、指導をしてもらうことで通院への促し、健康面に対する状況報告を的確に伝えることができた。

今後も、看護師等の専門職の助言、指導が重要となってくると考えられるため、専門職との連携を大切にしていく。

■生活介護

①環境整備

- ペーパータオルの設置 ○冷暖房調節・換気、温湿度計の管理
- 薬箱・体温計の整理・管理（作業室C） ○医薬品管理
- 加湿器・空気清浄機の設置 ○男女更衣室・身障トイレに冷暖房の設置
- 業者による園舎内清掃、消毒 ○ペダル式ゴミ箱の設置 ○手指などのアルコール消毒
- マスク

②健康の維持・管理

- 健康カード作成（個人データの整理） ○排尿・排便のチェック ○てんかん発作の記録表
- 検温（体調不良時には随時） ○血圧測定
- 体力維持のプログラム化
- 理学療法士による運動プログラム
- 配慮食・きざみ食・ブレンダー食の提供・パン粥の提供
- 家庭での体調の把握（連絡帳・送迎時ご家族からの聞き取り）
- インフルエンザ対策（手洗い・うがい励行 検温・視診）

③服薬管理

- 医療調査票作成（通院状況・服薬状況・担当医調査）
- 服薬管理（活動時間内に服薬する利用者の服薬管理）

④衛生管理

- 加湿器・空気清浄機の洗浄 ○給食配膳などの前にアルペットEでの消毒
- 給食配膳時にエプロンと三角巾とマスクの着用
- 手拭き・口拭きタオルの持参（利用者各自）
- 日光消毒（セラピーマット）
- 消毒薬の管理… ①次亜塩素酸ナトリウム液（尿や嘔吐物や便や血液の付着した洗濯物・
床・シャワー室・ポータブルトイレ容器・セラピーマット、トイレのつまみ・ドアの取手等のふきとり）
②エタノール液（体温計・爪切り使用後拭く）
- ペーパータオルの使用

■就労移行支援・就労継続支援 B 型

- ①環境整備：業者による園舎内消毒・薬品庫の整理、空気清浄機設置、ウェルパス、マスクの常備

- ②健康の保持増進：昼休みのラジオ体操、登園後のストレッチ、自治会でのゲームなど、楽しみながら運動を行った。

- ③感染症の発生防止対策：手指洗浄・消毒の徹底、うがいの励行、検温、清掃の強化及び機関紙などを通じて家庭での注意・配慮を促した。
- ④服薬管理：個人別定期通院・服薬状況表の提出を受け、ファイリングを行った。

■生活介護・就労移行支援・就労継続支援B型

- ①観察記録：利用者の生活状況を本人や家族の了解を頂き、必要に応じて医療機関に提供した。
- ②関係機関、医療機関との連携：主治医への接見や各種記録の提出。看護師の来園（月2回）時、保健衛生に関する助言、指導を受けた。

③作成資料

- (ア) 保健だより 年3回発行 (イ) 通院状況表
- (ウ) 服薬調査表 (エ) 健康チェックカード

④健康診断

- (ア) 内科医検診

検 診 日	6 月 6 日	11 月 7 日
-------	---------	----------

- (イ) 血圧・脈拍測定

検 診 日	4 月 22 日	10 月 3 日
-------	----------	----------

*検診日に欠席の場合、看護師の来園日に随時測定

- (ウ) 身体測定

測 定 日	4 月 22 日	10 月 3 日
-------	----------	----------

*検診日に欠席の場合、看護師の来園日に随時測定

- (エ) その他検診、検査

- 歯科検診

検 診 日	6 月 14 日
-------	----------

- 検尿

検 診 日	5 月 24 日	9 月 14 日
-------	----------	----------

(7) 給食の提供

給食で供する食事は、利用者の健康の維持・増進、生活習慣病の予防や家庭での食生活の意識向上を目指し、栄養素の摂取不足によって生じるエネルギー及び栄養素欠乏症の予防に留まらず、過剰摂取による健康障害の予防や生活習慣病の一次予防も重要である。

給食業務をウオクニ株式会社に委託して13年目となり、月1回定期的に同社の営業・栄養士・調理員・施設側の支援員・栄養士で会議を行い密に連携をとった。

また、研修会などの参加により多くの情報を得、利用者にとってより安全で楽しく、美味しく食事をしてもらう環境作りを考えるよう努めた。

また、サービス向上委員会において、給食のサービス向上のためのアンケートを実施し、その声を反映することができた。

食事は、あくまで個人的なものであることから個人が要求する栄養量を満たした食事摂取基準を算定し、美味しく、衛生的な食事であることにも努めた。

また、個別の栄養アセスメントにも対応できるようにした。

給食における「食生活の指針」をたて、次のとおり実施した。

1. 給食会議の充実
2. 「給食だより（献立表）」の発刊（月1回）
3. 残食検査の実施
4. 食事提供状態の充実
5. 研修会の参加
6. 衛生管理の充実

（８）利用者の状況

①通所状況（在籍者数は月初の人数）

■生活介護

（人）

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数（人）	28	28	28	28	28	28	27	27	27	27	27	27	
支援日数（日）	19	19	22	20	21	19	21	20	20	19	21	20	241
延利用数（人）	417	407	484	449	439	411	437	405	394	378	415	413	5,049

■生活介護（かがやき）

（人）

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数（人）	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	
支援日数（日）	19	19	22	20	21	19	21	20	20	19	21	20	241
延利用数（人）	69	69	91	84	80	78	89	85	82	63	85	85	960

■就労移行支援

（人）

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数（人）	6	7	7	8	8	8	7	5	4	4	4	4	
支援日数（日）	19	20	22	20	21	20	19	21	19	19	20	20	240
延利用数（人）	100	99	134	144	154	141	112	90	54	62	73	71	1,234

■就労継続支援B型

（人）

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数（人）	22	22	22	22	22	22	22	23	24	24	24	24	
支援日数（日）	19	19	22	20	21	19	19	20	19	19	20	20	237
延利用数（人）	366	370	446	401	417	384	446	446	433	409	454	449	5,021

②年齢別（平成29年3月31日現在）

■生活介護

（人）

性別 \ 年齢	18～19才	20～24才	25～29才	30才～	計
男	0	4	3	9	16
女	0	2	6	3	11
計	0	6	9	12	27

■生活介護かがやき

(人)

年齢 性別	30～39 才	40～49 才	50～59 才	60～69 才	70～79 才	80～89 才	計
男	1	2	0	0	2	2	7
女	1	1	0	4	1	1	8
計	2	3	0	4	3	3	15

■就労移行支援

(人)

年齢 性別	18～19 才	20～24 才	25～29 才	30 才～	計
男	1	1	1	1	4
女	0	1	0	0	1
計	1	2	1	1	5

■就労継続支援 B 型

(人)

年齢 性別	18～19 才	20～24 才	25～29 才	30 才～	計
男	3	2	3	5	13
女	0	2	3	5	10
計	3	4	6	10	23

③手帳の所持

(ア)療育手帳 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

■生活介護

(人)

判定 性別	A	B 1	B 2	計
男	16	0	0	16
女	11	0	0	11
計	27	0	0	27

■就労移行支援

(人)

判定 性別	A	B 1	B 2	計
男	1	3	0	4
女	0	0	1	1
計	1	3	1	5

■就労継続支援B型 (人)

判定 性別	A	B 1	B 2	計
男	4	6	3	13
女	1	8	1	10
計	5	14	4	23

(イ) 身体障害者手帳 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

■生活介護 (人)

級 性別	1 級	2 級	3 級	4 級	計
男	1	2	0	1	4
女	2	1	0	1	4
計	3	3	0	2	8

■生活介護かがやき (人)

級 性別	1 級	2 級	3 級	4 級	計
男	6	1	0	0	7
女	3	5	0	0	8
計	9	6	0	0	15

(ウ) 障害支援区分 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

■生活介護 (人)

区分 性別	区分 6	区分 5	区分 4	区分 3	計
男	4	5	6	1	16
女	2	4	5	0	11
計	6	9	11	1	27

■生活介護かがやき (人)

区分 性別	区分 6	区分 5	区分 4	区分 3	区分 2	計
男	1	1	2	2	1	7
女	1	1	1	3	2	8
計	2	2	3	5	3	15

④通園方法 （平成 29 年 3 月 31 日現在）

■生活介護 (人)

手段 性別	通園バス	家族送迎	計
男	15	1	16
女	11	0	11
計	26	1	27

■生活介護かがやき (人)

手段 性別	通園バス	家族送迎	計
男	7	0	7
女	8	0	8
計	15	0	15

■就労移行支援 (人)

手段 性別	路線バス	自転車	計
男	2	2	4
女	0	1	1
計	2	3	5

■就労継続支援 B 型 (人)

手段 性別	路線バス	自転車	徒 歩	計
男	6	5	2	13
女	6	0	4	10
計	12	5	6	23

(9) 各種会議

利用者の処遇向上と職員間の連携を図るため、次のとおり会議を開催した。

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 施設連絡会議（月 2 回） | 2. 法人事実行委員会（随時） |
| 3. 作品展実行委員会（随時） | 4. 職員会議（随時） |
| 5. ケース会議（随時） | 6. 給食会議（毎月 1 回） |
| 7. サービス向上委員会（毎月 1 回） | 8. 虐待防止・権利擁護委員会（随時） |

(10) 災害防止対策

防災用設備の自主点検実施のほか、災害時の任務分担、家族の緊急連絡網の職員への周知徹底を図ると共に、毎月の火災を想定した避難訓練とふれあいの里消防総合訓練（通報、避難、消火訓練）を年 2 回実施した。

(人)

実施日	想定災害	訓練内容	参加者			
			利用者			職員
			生活介護	就労移行	就労B型	
4月11日	火災	火災報知器を鳴らして避難訓練	22	3	12	18
5月17日	〃	〃	25	2	13	19
6月8日	〃	ふれあいの里消防総合訓練	24	5	14	21
7月7日	〃	火災報知器を鳴らして避難訓練	23	6	15	18
8月8日	〃	〃	21	5	10	17
9月12日	〃	〃	23	6	14	16
10月4日	〃	〃	24	6	14	19
11月1日	〃	ふれあいの里消防総合訓練	26	4	15	16
11月16日	〃	火災報知器を鳴らして避難訓練	23	4	16	18
12月9日	〃	〃	21	1	15	19
1月17日	震災	〃	23	0	13	21
2月6日	火災	〃	21	3	13	17
3月15日	震災	〃	22	4	14	19

(11) 職員研修・会議

職員の専門性の向上を目指し、質の高いサービスを提供するため、各種研修会・会議に参加した。

①機関研修

研修日	研修名	場 所	主 催	職 種
5月19日	送迎（福祉）車輛安全運転講習会	大阪国際交流センター	社団法人日本福祉車輛協会	運転手
5月24日	障がい者総合支援制度における指定事業者・施設集団指導	枚方市民会館	枚方市・寝屋川市	施設長
7月21日 22日	第39回てんかん基礎講座	大阪商工会議所	社団法人てんかん協会	支援員
8月19日	平成28年度強度行動障がい支援リーダー養成研修（基礎）	府立男女共同参画青少年センター	大阪府立自立相談支援センター	〃
8月24日	送迎（福祉）車輛安全運転講習会	新大阪丸ビル	社団法人日本福祉車輛協会	運転手
9月8日	2016年度特定非営利活動法人自閉症eサービス基礎講座 特性理解とteacch最新情報	西宮市総合福祉センター	自閉症eサービス	支援員
9月21日	平成28年度強度行動障がい支援者養成研修（基礎研修） ファシリテーター	たかつガーデン	大阪府立自立相談支援センター	〃
9月29日	2016年度特定非営利活動法人自閉症eサービス基礎講座 評価から支援	西宮総合福祉センター	自閉症eサービス	〃
10月20日	2016年度特定非営利活動法人自閉症eサービス基礎講座 構造化のアイディア	〃	〃	〃
11月8日	第二回感染症予防対策講習会	クレオ大阪中央ホール	大阪府社会福祉協議会	〃

研 修 日	研 修 名	場 所	主 催	職 種
11 月 10 日	2016 年度特定非営利活動法人 自閉症 e サービス基礎講座 コミュニケーション	西 宮 総 合 福 祉 セ ン ター	自閉症 e サービス	支援員
11 月 12 日 13 日	2016 年度社会福祉士実習 支援者養成研修（実践研修）	関西大学堺キャンパ ス	大阪社会福祉士会	〃
11 月 28 日	平成 28 年度強度行動障がい支 援者養成研修（実践研修）	大阪府教育会館たか つガーデン	大阪府立自立相談 支援センター	〃
12 月 5 日	平成 28 年度強度行動障がい支 援者養成研修（実践研修）	〃	〃	〃
12 月 24 日 25 日	発達障がい、知的障がい 支援者対象 S S T ファーストレ ベル	大阪社会福祉指導セ ンター	大阪府社会福祉協 議会	施設長代 理
1 月 13 日	障害者福祉事業所のための BCP	国際障害者交流セン ター	国際障害者交流セ ンター	施設長
1 月 23 日	災害時視覚聴覚障がい者支援 リーダー養成講座	〃	〃	支援員
1 月 24 日	障がい者差別や虐待を防止する ために	大阪府社会福祉会館	一般社団法人大阪 府地域福祉推進	〃
1 月 30 日	地域貢献実務担当者研修会	〃	摂津市社会福祉施 設地域貢献委員会	施設長
〃	平成 28 年度第 2 回「知的障が いを伴う発達障がいのある方へ のこだわりへの理解と支援につ いて	大阪府立急性期・総 合医療センター	大阪府立障害者自 立相談支援セン ター	支援員
2 月 22 日	障がい者の権利擁護と成年後見 研修	大阪府社会福祉会館	福祉と人権の研修 ネットワーク	〃
2 月 23 日 24 日	災害時要配慮者支援ボランティ アリーダー養成講座	国際障がい者交流セ ンター	国際障がい者交流 センター	〃
2 月 28 日	平成 28 年度福祉人材確保 定着セミナー	大阪府社会福祉会館	大阪府社会福祉協 議会	施設長
3 月 6 日	平成 28 年度第 3 回機関研修会 地域における困難ケースと刑事 司法アセスメントから支援の流 れを考える	大阪府立急性期・総 合医療センター	大阪府	支援員

②専門研修(栄養士研修)

研 修 日	研 修 名	場 所	主 催	職 種
5 月 30 日	平成 28 年度 大阪府茨木保健 所管内集団給食研究会総会	茨木市福祉文化会 館	大阪府茨木市保健所管 内集団給食研究会	栄養士
6 月 10 日	平成 28 年度 第 1 回 感染 症・食中毒予防対策講習会	吹田市文化会館 大ホール	大阪府社会福祉協議会	〃
8 月 17 日	平成 28 年度衛生研修	摂津市立ひびきは ばたき園	摂津市立ひびきはば たき園	〃
11 月 8 日	ノロウィルス講習会	吹田市文化会館 大ホール	大阪食品衛生協会	〃
12 月 7 日	特定給食講演会	枚方市市民会館大 ホール	大阪府・大阪市・堺 市・豊中市・高槻市・ 東大阪市・大阪府立大 学 21 世紀科学研究機 構「公衆栄養実践研究 センター」・社団法人 大阪府栄養士会	〃

③施設内研修（法人研修）

研 修 日	研 修 名	講 師	職 種
7 月 19 日	クラウド勉強会	摂津宥和会	施設長 栄養士
7 月 29 日	てんかん基礎講座伝達研修	支援員	支援員
8 月 17 日	平成 28 年度衛生研修	(株)イーゼニック	施設長他
9 月 12 日 20 日 26 日 10 月 3 日 17 日 24 日 11 月 14 日 12 月 12 日	DVD 研修（1・2・3 巻） 自閉症の人が見ている世界	DVD 視聴学習	支援員
9 月 16 日	サービス提供の現場から組織で 虐待を防止する (伝達研修 9/27. 28 . 12/19)	障がい者支援施設くりのみ園 統括施設長 大崎年史 支援員	施設長他
9 月 27 日 10 月 12 日	防犯研修	摂津警察	〃
11 月 18 日 22 日	感染症予防対策講習会伝達研修	支援員	支援員
3 月 17 日	SNS 利用のルール～ 組織の一員として	労務コンサルタント 坂東嘉子	施設長他
3 月 30 日	普通救命講習（AED）	摂津市消防本部	〃

(12) その他

①ボランティア受け入れ状況

担当者を設け、利用者の対人関係の拡大、体験学習、福祉の啓発を目的に受け入れをし、施設の社会化の一環とする。受け入れに当たっては、より職員間の意識統一を図るため、ボランティア受け入れマニュアルをもとに受け入れ、定期的に会議を設けた。(人)

実 施 日	行事名	参加団体	人数
9 月 1・2・5 日	ボランティア体験プログラム	大学ゼミ課題	1
9 月 20 日	〃	退職をきっかけにボランティア参加	1
10 月 22 日	第 2 回摂津宥和会運動会	関西外国語大学など	20
12 月 22 日	ジャンボクリスマス会	人間科学大学子ども福祉学科	9
2 月 18 日	第 16 回 つくっ展と輝けコンサート	関西電力労働組合 北摂支部 園のボランティア経験者	10

②実習生の受け入れ状況

支援学校からの実習は、教育の一環として作業学習や、施設生活を体験することで、進路選択を行うため広く受け入れた。また、福祉事務所からの実習も受け入れ、広く障がい者福祉の啓発や福祉の人材育成に努めた。

(人)

実習期間	学校、施設名	受け入れ先	人数
7月11日～7月15日	摂津支援学校	生活介護	1
7月25日～7月29日	〃	〃	2
8月1日～8月5日	〃	就労移行	1
8月22日～8月26日	〃	〃	1
8月29日～9月2日	〃	〃	1

(職場体験実習)

(人)

実習期間	学校・施設名	受け入れ先	人数
11月17日・18日	摂津市立第3中学校	就労移行	1

③アフターケア

障がい者の自立と豊かな地域生活への実現に向けて、本人の希望や家族の状況に応じて進路選択や決定の支援を行った。また、進路先へのスムーズな移行のために調整や引継ぎなど直接的、間接的支援を実施した。

(13)日中一時支援事業

地域生活支援事業の日中一時支援サービスとして、障がい児・者に対し、長期休暇や放課後の預かりや、作業所利用者の平日休曜日や在宅障がい者の日中活動の場やご家族のレスパイトを目的に受入れを行ってきた。

今年度の受け入れ状況は、本体施設利用者の状況や施設面（ハード面）などの問題により、受入れが制限されることがあり、また、利用者の障がい程度に合わせた5クラスの編成配置を行ったため、日中一時支援を受ける居室がないため児童の受入れは難しく、また障がい者の利用希望もなかった。

(14) 移動支援事業（ガイドヘルパー派遣事業）

①概況

一人で外出することが困難な障がいのある方の外出時に、付き添いや介助等のサービスを行うガイドヘルパーを派遣した。今年度も利用者からの要望をもとにグループ支援や特別企画として、春休みに外出先を企画（万博公園記念文化園）し、余暇の充実のためのサービス提供を行った。

②事業の状況

*移動支援サービスの提供状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護あり	件数	27	31	26	27	27	25	24	25	28	24	22	24	310
	時間	111	161	92	119.5	99	105.5	92	104.5	120	95.5	73	90.5	1,263.5
	平均	4.1	5.1	3.5	4.4	3.6	4.2	3.8	4.1	4.2	3.9	3.3	3.7	3.99
身体介護なし	件数	7	6	4	7	10	7	5	6	3	2	2	6	65
	時間	50	44.5	28	48.5	57	51	35	47.5	22.5	12	15	46.5	457.5
	平均	7.1	7.4	7	6.9	5.7	7.2	7	7.9	7.5	6	7.5	7.7	7.08
合 計	件数	34	37	30	34	37	32	29	31	31	26	24	30	375
	時間	161	205.5	120	168	156	156.5	127	152	142.5	107.5	88	137	1,721
	平均	4.7	5.5	4.0	4.9	4.2	4.8	4.3	4.9	4.5	4.1	3.6	4.5	4.5

*利用者契約者の状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

（人）

		人 数	合 計
障害種別	知的障害	49	54
	身体障害	5	
	精神障害	0	
身体介護あり		29	54
身体介護なし		25	
療育手帳	A	31	54
	B1	18	
	B2	5	

＊主催事業

利用者からの要望をもとに外出先を企画し、支援を行った。

③職員研修

職員の専門性の向上を目指し、質の高いサービスを提供するため、各種研修会に参加した。

(人)

研 修 日	研 修 名	場 所	参加者
7 月 21 日 22 日	てんかん基礎講座	大阪商工会議所	1
11 月 8 日	第二回感染症予防対策講習会	クレオ大阪中央ホール	1

④各種会議

安定した移動支援サービスの提供と職員間の連携を図るため、定期的に会議を開催した。

(人)

実施日	内 容	参加者
5 月 30 日	会議（計画書等書類の書き方・見直しグループ支援について）	10
6 月 2 日	会議（ニーズ調査）	6
6 月 7 日	〃	5
7 月 25 日	〃	5
3 月 24 日	会議（計画書等書類の書き方・見直しグループ支援について）	3

Ⅱ 摂津市立身体障害者・老人福祉センター

(1) 概 況

施設スローガンとして『共に歩もう！笑顔で・元気で・協働で』を掲げ、施設運営において職員と利用者間での結びつきを持つことで、より身近に利用してもらえる雰囲気の良い施設づくりに力を注いだ。

ふれあいの里敷地内の駐車スペースが限られている事で、利用者に車での来所をできる限り控えていただいたり、施設の立地的な部分で、市内無料巡回バス セッピー号の到着時間に合わせて事業開始時間を設定するなどして、主催事業等を展開してきた。内容としては、利用者の「生きがいづくり・健康づくり」を中心に、いきいきカレッジ・はつらつ元気でまっせ講座（介護予防事業）・カラオケ教室・健康体操等を行った。そして、同好会や自主グループへの支援や育成に力を注いだ。

各種講座・事業の広報活動には、ホームページや市広報への掲載・チラシ配布 等を行ったが、やはり利用者からの口コミによるものが大きく、随所で利用者に協力を求めて利用者増につなげた。

平成26年4月より、地域活動支援センター事業を、ひびきはばたき園の生活介護事業へ移行したが、引き続き当センター内で事業を実施しているため、生活介護事業（かがやき）利用者への声かけや気配りに加え、主要な主催事業である「福祉センターまつり」や「多世代交流事業」等への、参加を呼びかけ、高齢者・障がい者の方々に事業参加していただいた。

(2) 利用について

①利用対象

- ・市内在住の身体に障がいのある方
- ・市内在住の60歳以上の方

②利用手続

- ・利用当日センターの窓口で「利用証」を提示する。
- ・団体の場合は、使用日1ヵ月前から受け付ける。

③開館時間

- ・午前8時45分から午後5時15分まで

④休館日

- ・日曜日
- ・国民の祝日
- ・12月29日～1月5日まで

(3) 年間主要行事の実施状況

①年間主催事業

(ア) 長期主催事業

(人)

講 座 名	実 施 期 間	受講者数
健 康 体 操 (新規)	4月14日～3月23日 (22回) 毎月第2・4木曜日 13:00～14:00	20
カラオケ教室	4月6日～3月15日 (24回) ①毎月第1・3水曜日 10:30～12:15	40
	4月6日～3月15日 (24回) ②毎月第1・3水曜日 12:45～14:45	23

(イ) 受託事業

・いきいきカレッジ

(人)

講 座 名	実 施 期 間	受講者数
いきいきカレッジ (老 人 大 学)	6 月 3 日～11 月 11 日 (20 回) 毎週金曜日 10:30～15:00	38

『これからの人生 健康で 広げよう 友の輪 つながろう地域の輪』を年間テーマとして高齢者の方々が知識と教養を深める場、生きがいきづくりや仲間づくりの場として開講した。

NO	月 日	講 演 名	講 師 名
1	6 月 3 日	★合同開講式 ★記念講演「今までのまちづくりについて」 摂津市長 森山 一正	
2	6 月 10 日	頭も心も柔らかに	レクリエーションコーディネーター 郡 真由美
3	6 月 17 日		
4	6 月 24 日	終 日 専 門 科 目	
5	7 月 1 日	新しい宇宙像に挑む巨大望遠鏡たち ：アルマ（電波）と TMT（光）	国立天文台 TMT 推進室 望遠鏡チーム技術アドバイザー 稲谷 順司
6	7 月 8 日	摂津市内の工場を見学しよう	㈱カネカ 大阪工場
7	7 月 15 日	最近の消費生活トラブルを知ろう スマホ・ケータイ安全教室	摂津市消費生活相談員 中村 元繁 NTT ドコモ 魚住 麻衣子
8	7 月 22 日	終 日 専 門 科 目	
9	7 月 29 日	新聞の編集（その流れとしくみ） ～編集者の思いについて～	朝日新聞社 大阪本社 編集センター員 陰山 真由美
10	9 月 2 日	よりよく生きるための片付け術	一般社団法人 生前整理普及協会 認定指導員 山崎 由香
11	9 月 9 日	太極拳をやってみよう	いきいきカレッジ 太極拳科 元講師 棚橋 真由美
12	9 月 16 日	近年の水災害について ～淀川での対策について～	淀川河川事務所 長谷川 広樹 近畿地方整備局河川部 竹中 宏徳
13	9 月 23 日	社 会 見 学	奈良・和歌山方面 檀原神宮・真田庵
14	9 月 30 日	歯と上手に付き合う方法	歯科衛生士 斎藤 星子
15	10 月 7 日	生きがい発見ボランティア・ 地域活動への参加	市民と暮らしの研究所 所長 太田 昌也
16	10 月 14 日	終 日 専 門 科 目	
17	10 月 21 日	近隣の施設を見学しよう	吹田市くるくるプラザ (吹田市資源リサイクルセンター) 日本赤十字社 近畿ブロック血液センター
18	10 月 28 日	終 日 専 門 科 目	
19	11 月 4 日	淀川を愛した与謝蕪村と江戸時代の俳人	摂津市文化財愛護会 会長 古谷 邦雄
20	11 月 11 日	閉 講 式 ・ 懇 親 会 場 所 ふれあいの里 摂津市立老人福祉センター	

※老人大学（いきいきカレッジ）申込・受講状況者数

申込者数 (人)

専 門 科 目	人 数
健 康 福 祉 科	15
陶 芸 科	4
パ ソ コ ン 科 ①	14
パ ソ コ ン 科 ②	15
合 計	48

受講者数 (人)

専 門 科 目	男性	女性	合計
健 康 福 祉 科	3	13	16
陶 芸 科	2	2	4
パ ソ コ ン 科 ①	3	7	10
パ ソ コ ン 科 ②	4	4	8
合 計	12	26	38

・はつらつ元気でまっせ講座 (人)

講 座 名	実 施 期 間	受講者数
はつらつ元気でまっせ講座 (介護予防講座)	新野々集会所 5 月 19 日	11
	鳥飼東公民館 8 月 23 日～9 月 27 日(6 回) 10 月 27 日・3 月 28 日	14 68(延べ)
	第 36 集会所 1 月 12 日～2 月 23 日(6 回) 3 月 23 日	17 75(延べ)

(ウ) 短期主催事業 (人)

講 座 名	実 施 期 間	受講者数
初級パソコン講座	11 月 17・18 日 (13:00～15:00)	16(延べ)

(エ) 単発事業 (人)

実施日	事 業 名	場 所	参加者	内 容
9 月 24 日	福祉センターまつり	福祉センター内	約 250	利用者・他施設職員との協働での開催。演芸大会、各同好会の作品展等の催し
2 月 2 日 3 日	ふれあいの里 バスツアー	岐阜・長野県	77	恵那峡遊覧・ちこり村・昼神温泉・お菓子の里 飯田城・水引工芸館・元善光寺等
3 月 11 日	多世代交流事業	福祉センター内 集会室等	21	第 1 児童センターの児センキッズによるダンスの披露。スカットボール・スティックカーリングを多世代交流事業として実施。(身障協会の会員・生活介護かがやき・グループホームの利用者も参加)

②同好会活動等

(人)

同好会名	実施期間	会員数
陶芸同好会	① 毎週火・木曜日 10:00 ～ 15:00	26
	② 毎週水・土曜日 10:00 ～ 15:00	29
え～やろ仲良会	① 第2・4月曜日 10:00 ～ 11:30	19
	② 第1・3月曜日 10:00 ～ 11:30	20
書道悠墨会	第2・4火曜日 10:00 ～ 12:00	17
革工芸同好会	月2回 木曜日 12:00 ～ 15:00	5
健康体操	A 第1・3木曜日 14:10 ～ 15:40	17
	B 第2・4木曜日 14:10 ～ 15:40	20
	C 第1・3木曜日 13:00 ～ 14:00	27
パソコン同好会	① 第1・3水曜日 10:00 ～ 12:00	5
	② 第2・4木曜日 10:00 ～ 12:00	8
木彫同好会	月2回 月曜日 9:00 ～ 15:00	3
いきいきふれあいの会	毎週 火曜日 13:30 ～ 15:30	20
太極拳同好会	毎週 金曜日 13:15 ～ 15:00	17
パソコン撫子会	月2回 火・木曜日 10:00 ～ 12:00	9
パソコンF&M	第2・4 木曜日 10:00 ～ 11:30	9
パソコン44会	月2回 火曜日 10:00 ～ 12:00	8

③その他の利用団体

(人)

	団体名	実施期間	会員数
1	46期パソコン科OB	月2回 水曜日 10:30 ～ 12:30	9
2	47期パソコン科OB	月2回 金曜日 10:00 ～ 12:00	4
3	48期パソコン科①OB	月2回 金曜日 10:00 ～ 12:00	8
4	48期パソコン科②OB	月2回 金曜日 10:00 ～ 12:00	8

(4) 利用者の月別状況

(人)

月	主催事業	短期事業 単発事業	同好会	個人・団体	介護予防	いきいき カレッジ	計
4	110		541	66			717
5	100		494	82	11	34	721
6	121		599	28		144	892

月	主催事業	短期事業 単発事業	同 好 会	個人・団体	介護予防	いきいき カレッジ	計
7	115		540	69		179	903
8	97		407	11	21		536
9	90	250	500	123	29	171	1,163
10	97		508	52	9	135	801
11	100	16	467	80		68	731
12	96		486	196			778
1	86		519	137	36		778
2	94	77	501	82	32		863
3	59	21	576	174	18		848
合 計	1,165	441	6,138	1,100	156	731	9,731

(5) 年齢別使用証交付状況

(人)

年齢 性別	60～64 才	65～69 才	70～74 才	75～79 才	80～84 才	85～89 才	90～ 才	合 計
男	1	8	27	29	14	7	0	86
女	11	67	83	64	22	9	3	259
合 計	12	75	110	93	36	16	3	345

(6) 地区別使用証交付状況

(人)

地区 性別	鳥飼北	鳥飼南	味 生	味 舌	千里丘	合 計
男	30	27	17	5	7	86
女	126	90	23	7	13	259
合 計	156	117	40	12	20	345

(7) 身体障害者手帳等級別利用状況

(人)

級 性別	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	合 計
男	2	0	3	2	0	0	7
女	2	2	5	3	0	0	12
合 計	4	2	8	5	0	0	19

(8) 各種会議

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 施設連絡会議（月2回） | 2. 法人事実行委員会（随時） |
| 3. ふれあいの里内防災担当者会議（随時） | 4. 職員会議（随時） |

(9) 災害防止対策

利用者と職員の安全性を確保するため、防災設備の点検・災害時の任務分担及び緊急連絡網の確認等を行った。

(人)

実施日	参加者	実 施 内 容
6 月 8 日	16	通報・避難・消火訓練をふれあいの里全施設合同で行った。 (市消防立ち会い)
11 月 1 日	27	
9 月 5 日	17	大阪880万人訓練に参加

Ⅲ 摂津市障害者職業能力開発センター「せつつくすのき」

(1) 運営概況

障がい者の就労を可能にするために、知識・技能及び職業人に必要な挨拶やマナー等の習得を図り、職場定着できるように支援を行った。身体障がい者及び内部障がい者対象のＯＡ実務科と知的障がい者対象の実務作業科の２科で、それぞれ１年間の職業訓練を実施したが、ＯＡ実務科の１名が体調不良のため７月より長期欠席となり、修了することが出来なかった。また大阪府委託訓練事業である短期訓練「作業習得コース」を年３回（５月、１０月、１月）実施する予定であったが、５月受講予定者が短期訓練開始前に本人から辞退の申し入れ、また１０月は受講希望者がなく、１月開始訓練に１名を受入れ就職につなげた。

職業訓練では早い時期から訓練生の適正と能力の把握に努め、６月の障害者技能競技（アビリンピック）大会では優秀な成績を収め、訓練生の就労に対する意識を高めその後の就職活動につなげた。また、保護者も交えての参観及び懇談、公共職業安定所を招いての就職相談を実施し、本人の希望や能力・適性等を考慮したうえで、企業の絞り込みを行いながら応募した。

訓練生を確保するために訓練内容の質、就職率等当センターの実績について、近隣の公共職業安定所、就業・生活支援センター、支援学校や専修学校等へのＰＲの強化を図り定員以上の応募者を確保することが出来た。

(2) 職業能力開発訓練指導の状況

ＯＡ実務科においては、簿記、ワープロ、表計算、ホームページを中心に訓練を実施し、就職内定後においては、内定先企業から求められるプレゼンテーション、データベース等個々に応じた選択科目を導入するなど、修了後、即戦力として働ける知識、技術を身につけるため各訓練生に合わせた柔軟な訓練カリキュラムを実施した。

実務作業科については、センター内の木工訓練、軽作業以外に、コミュニケーションを円滑に行うためにグループワークやソーシャルスキルトレーニングを取り入れ、訓練を実施した。

その他にもより多くの経験を積むために、摂津市内の企業を中心に職場体験実習を依頼し、就労意欲を高め、各訓練生に応じた職場を開拓し、より実践に即した訓練を行った。

①行 事

職業訓練指導・社会生活指導を目的として、次のとおり行事を実施した。

実施日	行事名	場 所	参加者	内 容
4月6日	入 校 式	せつつくすのき	実務作業科 10 名 ＯＡ実務科 10 名	入校生 実務作業科 33 期生 10 名 ＯＡ実務科 43 期生 5 名
5月26日	就職相談	〃	ＯＡ実務科 5 名	各管轄職業安定所の担当 官との個別就職相談
5月9日 ～20日	保護者懇談	〃	実務作業科 10 名	保護者の参観、懇談

実施日	行事名	場 所	参加者	内 容
6 月 24 日	企業見学会	株式会社 スミセイハーモニー	〇 A 実務科 9 名	就職活動として障害者雇用事業所を見学する
7 月 13 日		株式会社 ダイキンサンライズ 摂津	実務作業科 4 名 〇 A 実務科 10 名	
6 月 25 日 7 月 9 日	アビリンピック おおさか	ポリテクセンター 関西	実務作業科 6 名 〇 A 実務科 1 名	競技課題を通じて実務面での応用力を養う 製品パッキング金賞 1 名 〃 銀賞 1 名 ビルクリーニング金賞 2 名 データ入力 銀賞 1 名 〃 銅賞 1 名 ワードプロセッサ銅賞 1 名
8 月 10 日	人権研修	せつつくすのき	実務作業科 9 名 〇 A 実務科 7 名	3 班に分かれ、人権について考える
9 月 29 日	修了式	〃	実務作業科 10 名 〇 A 実務科 9 名	修了生 〇 A 実務科 42 期生 5 名
10 月 5 日	入校式	〃	実務作業科 10 名 〇 A 実務科 9 名	入校生 〇 A 実務科 44 期生 5 名
10 月 22 日	運動会	三宅柳田小学校	実務作業科 10 名 〇 A 実務科 8 名	法人合同運動会への参加で体力の向上、協調性・責任感の育成
10 月 27 日	就職相談	せつつくすのき	実務作業科 10 名 〇 A 実務科 4 名 保護者 10 名	各管轄職業安定所の担当官との個別就職相談
2 月 5 日	摂津ふれあいマラソン	淀川河川公園 鳥飼下地区	実務作業科 10 名	参加予定であったが、当日雨天のため欠場
3 月 28 日	修了式	せつつくすのき	実務作業科 10 名 〇 A 実務科 9 名	修了生 実務作業科 33 期生 10 名 〇 A 実務科 43 期生 4 名

②採用試験受験、職場実習

職業安定所、新聞広告等からの情報を取り入れて、職場開拓、会社訪問、採用試験受験、職場実習をすすめ、就職活動を行った。

※障がい者合同面接会

実施日	名 称	場 所	参加者
6 月 7 日	高槻市雇用促進フェア	高槻市立生涯学習センター	〇 A 実務科

実施日	名 称	場 所	参加者
6 月 20 日	ハローワーク大阪西ミニ面接会	ハローワーク大阪西	〇Ａ実務科
8 月 19 日	障がい者就職面接会	大阪市西区民ホール	〃
8 月 26 日	東大阪市障害者就職面接会	クリエイターズプラザ	〃
8 月 27 日	うめだ障害者就職面接会	ハローワーク梅田	〃
9 月 7 日	摂津市障害者合同面接会	ポリテクセンター関西	〃
9 月 14 日	京都障害者就職面接会	国立京都国際会館	〃
9 月 16 日	ハローワーク門真障害者就職面接会	大東市立総合文化センター	〃
10 月 6 日	大阪労働局主催障害者就職面接会	マイドーム大阪	〇Ａ実務科 実務作業科
11 月 21 日	ハローワーク大阪東障がい者就職面接会	中央区民センター	〃
11 月 22 日	茨木市障がい者就労支援フェア	茨木市役所	〃
12 月 8 日	障がい者合同就職面接会	大阪市淀川区役所	〃
12 月 13 日	梅田ミニ面接会	ハローワーク梅田	〃
1 月 26 日	池田市障害者就職面接会	池田商工会議所	実務作業科
2 月 16 日	障がい者就職応援フェア in すいた	吹田市勤労者会館	〃
2 月 23 日	大阪労働局主催障害者就職面接会	マイドーム大阪	〇Ａ実務科
2 月 24 日	障害者合同就職面接会	ラポールひらかた	〃

③就職状況

平成 28 年度の就職先事業所、就職先は次のとおり。

〇Ａ実務科 第 42 期生 4 名

事 業 所 名	所在地
(株)かんでんエンジニアリング	摂津市
アンダツリー(株)	大阪市
大橋化学工業(株)	茨木市
ローム(株)テクノパーク大阪東	大東市

〇Ａ実務科 第 43 期生 3 名

事 業 所 名	所在地
(株)小松製作所	枚方市
エムオーテックス(株)	大阪市
(株)エイチ・アイ・エス	〃

実務作業科 第33期生 10名

事業所名	所在地
(株)ダイキンサンライズ摂津	摂津市
ダイキン福祉サービス(株)	大阪市
西尾レントオール(株)	八幡市
(株)インターフェイス	大阪市
(株)キリンドウベスト	東大阪市

事業所名	所在地
㈱KCC	大阪市
泉州電業(株)	吹田市
アドバンスト・ロジスティックス ソリューションズ(株) (2名)	大阪市
(株)バレーコード	〃

④家庭等との連携

保護者または支援者に対して職業訓練の目的、主旨、生活指導、就職活動等を理解し、協力していただくため、次のように随時懇談を実施して連携を深めた。

実施月日	科目名	懇談内容
4月27日	OA実務科 実務作業科	保護者面談
5月9日～20日	実務作業科	訓練参観、訓練状況について
5月13、30日	〃	保護者面談
6月18日	OA実務科 実務作業科	保護者面談
6月20、23日	実務作業科	職業センター 重度判定
10月27日	〃	各安定所就職相談会

(3) 健康管理

インフルエンザ及び食中毒・感染症予防対策としては、マスクや手洗い消毒液を購入して対応し、訓練生や家族に対して、注意文書の配布や掲示等により、予防啓発に努めた。
その他、訓練生に対し訓練生活での健康管理、衛生管理について注意を促した。

(4) 訓練生の状況

①手帳の所持者

(療育手帳)

(人)

判定 性別	A	B1	B2	合計
男	1	2	6	9
女	0	2	1	3
合計	1	4	7	12

内2名は、身体障害者手帳も所持
(OA実務科に所属)

(身体障害者手帳)

(人)

級 性別	1	2	3	4	5	合計
男	4	3	2	1	2	12
女	0	2	1	0	0	3
合計	4	5	3	1	2	15

②通校状況

(人)

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
在籍者数	O A実務科	42期生	5	5	5	5	5	5	/	/	/	/	/	30
		43期生	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
		44期生	/	/	/	/	/	/	5	5	5	5	5	30
	実務作業科	33期生	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
	合 計		20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
訓練日数		17	19	22	20	17	19	20	20	15	16	19	19	223

③地域別

(人)

	O A 実 務 科			実務作業科	合 計
	42期生	43期生	44期生	33期生	
摂津市	3	0	1	2	6
高槻市	0	2	2	1	5
茨木市	0	0	0	2	2
大阪市	0	0	0	2	2
豊中市	1	1	0	0	2
枚方市	0	1	1	0	2
吹田市	0	1	0	0	1
池田市	0	0	0	1	1
守口市	0	0	0	1	1
寝屋川市	0	0	0	1	1
大東市	1	0	0	0	1
交野市	0	0	1	0	1
合 計	5	5	5	10	25

④年齢別（入校時）

(人)

年 齢		15～ 19 才	20～ 29 才	30～ 39 才	40～ 49 才	50～ 59 才	合 計
〇 A 実務科	男	2	2	1	4	3	12
	女	1	1	1	0	0	3
実務作業科	男	4	1	1	1	0	7
	女	3	0	0	0	0	3
合 計	男	6	3	2	5	3	19
	女	4	1	1	0	0	6

⑤入校幹旋職業安定所

(人)

		茨木	枚方	淀川	池田	門真	阿倍野	合計
〇 A 実務科	42 期生	3	0	0	1	1	0	5
	43 期生	2	1	1	1	0	0	5
	44 期生	3	2	0	0	0	0	5
実務作業科	33 期生	5	1	1	1	1	1	5
合計		13	4	2	3	2	1	25

⑥通校の方法

(人)

方 法			電車・バス	バス	自家用車	自転車	徒歩	合計	
〇 A実務科	42 期生	男	2	2	0	0	0	4	
		女	0	0	1	0	0	1	
	43 期生	男	3	0	0	1	0	4	
		女	0	1	0	0	0	1	
	44 期生	男	1	1	2	0	0	4	
		女	1	0	0	0	0	1	
実務作業科	33 期生	男	3	4	0	0	0	7	
		女	2	1	0	0	0	3	
合 計			男	9	7	2	1	0	19
			女	3	2	1	0	0	6

(5) 障がい者の態様に応じた多様な委託訓練事業（作業習得コース）

軽作業・木工等の作業訓練により、生活態度・集中力・持続性等の向上を図り、多種多様な仕事に対応できる基礎知識、技能の習得を行う。

訓練期間	平成 28 年 5 月 16 日 ～ 7 月 15 日	平成 28 年 10 月 17 日 ～ 12 月 16 日	平成 29 年 1 月 16 日 ～ 3 月 15 日
定 員	年間 7 名		
受講者	1 名（辞退）	0 名	1 名

就職先

事 業 所 名	所在地
わらべや日洋株式会社	摂津市

受講者の状況

(療育手帳) (人)

判定 性別	A	B1	B2	合計
男	0	0	2	2
女	0	0	0	0
合計	0	0	2	2

(身体障害者手帳) (人)

級 性別	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	0	1	0	1	2
女	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	1	0	1	2

(地 域 別) (人)

摂津市	茨木市	合 計
0	2	2

(6) 各種会議

訓練生の職業能力の開発及び向上のため、ケース会議と職員間の連携を図るため、次のとおり会議を開催した。

1. 施設連絡会（月 2 回）
2. ケース会議（随時）
3. カリキュラム会議（随時）
4. 各行事会議（随時）
5. 法人行事実行委員会（随時）

(7) 防災訓練

火災、地震を想定した施設内訓練を次のように実施した。

(人)

実施月日	想定災害	訓練内容	参加者
6月8日	火災	総合消防訓練	訓練生 16 職員 6
9月5日	避難	大阪880万人訓練	訓練生 16 職員 6
11月1日	火災	総合消防訓練	訓練生 13 職員 7
1月17日	地震	震災避難訓練	訓練生 17 職員 8
3月10日	〃	〃	訓練生 14 職員 6

(8) 職員研修

訓練生の職業能力の開発及び向上を図るため、職員の資質向上を目指し、また、関係機関と連携を図るため各種研修等に参加した。

研修日	研修名	場所	主催	参加者
5月19日	生きる力は自分の中にある！	摂津市立コミュニティプラザ	摂津市人企連	施設長
7月23日 30日	職業訓練サービス ガイドライン研修	ポリテクセンター 関西	職業能力開発 総合大学校	〃
9月26日 27日				指導員
11月19日 26日				〃
8月19日	新規人材育成事業に係る説明会	関西経理専門学校	日本商工会議所	施設長 代理
9月2日	能力開発施設連絡会	大阪市職業指導 センター	全国就業支援 ネットワーク	施設長 主任
1月24日 25日	「簿記検定試験初級」説明会	関西経理専門学校	日本商工会議所	指導員
1月25日	ふれあい学習会	シャープ特選工業 株式会社	摂津市人企連	主任
2月28日	障がい者雇用と人権	摂津市産業支援 ルーム	〃	施設長
3月30日	普通救命講習	ひびきおびたき園	ひびきおびたき園	全職員

(9) その他： 検定試験合格者

(人)

実施月日	検 定 名	科目名	合格者
4 月 22 日	日本商工会議所 P C 検定 (文書作成) 3 級	0A 実務科	1
4 月 26 日	日本商工会議所 P C 検定 (データ活用) 3 級	〃	2
4 月 27 日	日本商工会議所 P C 検定 (プレゼン資料作成) 3 級	〃	1
7 月 28 日	日本商工会議所 P C 検定 (データ活用) 2 級	〃	1
7 月 29 日	〃	〃	1
8 月 10 日	日本商工会議所 P C 検定 (データ活用) 3 級	〃	1
	日本商工会議所 P C 検定 (プレゼン資料作成) 2 級		1
9 月 7 日	日本商工会議所 P C 検定 (文書作成) 2 級	〃	1
9 月 14 日	〃	〃	1
10 月 3 日	日本商工会議所 P C 検定 (データ活用) 3 級	〃	3
11 月 14 日	日本商工会議所 P C 検定 (プレゼン資料作成) 3 級	〃	3
12 月 16 日	〃	〃	1
1 月 26 日	日本商工会議所 P C 検定 (データ活用) 2 級	〃	1
2 月 8 日	日本商工会議所 P C 検定 (データ活用) 3 級	〃	2
2 月 26 日	日本商工会議所 簿記 3 級	〃	2
3 月 15 日	日本商工会議所 P C 検定 (文書作成) 3 級	〃	1
3 月 24 日	〃	〃	1
3 月 27 日	日本商工会議所 P C 検定 (プレゼン資料作成) 2 級	〃	1
3 月 29 日	日本商工会議所 P C 検定 (文書作成) 2 級	〃	1

(10) 訓練生の募集活動・施設の P R 活動

訓練生の募集活動として公共職業安定所はもとより、摂津市をはじめ近隣市の障がい担当課、支援学校、大学、病院、関係機関等に対する P R 活動に努めた。

実施月日	P R 事業	主 催	内 容
6 月 13 日	障がい者職業訓練合同説明会	大阪府 摂津市	大阪北部地域障害者職業訓練校の 訓練内容について関係機関、学校 向け合同説明会を実施

実施月日	P R 事業	主 催	内 容
7 月 14 日	ハローワーク職員向け 障がい者職業訓練説明会	大阪府	募集時期に合わせて各訓練校の内 容・特色等の説明会を実施
8 月 1 日	障がい別職業訓練説明会	〃	障害別に大阪府下の障害者職業訓 練校の訓練内容について関係機 関、学校向け合同説明会を実施
10 月 25 日	ハローワーク職員向け 障がい者職業訓練説明会	〃	募集時期に合わせて各訓練校の内 容・特色等の説明会を実施

【応募生職業評価選考試験】

平成 2 8 年 1 0 月入校訓練生の職業評価選考試験を次のように実施した。(人)

実施月日	科目名	募集	応募者	合格者	辞退者	対 象 者
8 月 25 日	O A 実務科	5	6	5	2	肢体不自由者 及び内部障がい者
9 月 21 日		2	2	2		

平成 2 9 年 4 月入校訓練生の職業評価選考試験を次のように実施した。(人)

実施月日	科目名	募集	応募者	合格者	対 象 者
12 月 7 日	実務作業科	10	10	8	知的障がい者
2 月 16 日	O A 実務科	5	11	5	肢体不自由者 及び内部障がい者
3 月 2 日	実務作業科	2	6	2	知的障がい者

(1 1) アフターケア

修了生の職場定着を図り、企業の障がい者の就労に対する理解を深めるため、就職先事業所を連絡訪問し、就労の状況の把握を行い、事業所に対し相談援助を行った。また、修了生や事業所からの相談を受けてケアを行った。

5 摂津市立第1児童センター

(1) 概 況

児童センターは数ある児童の福祉施設の中で唯一、子どもの意思で自由に利用できる施設として

- ①遊びを通して子どもの健全育成を図る。
- ②子どもの遊びの拠点かつ居場所となり家庭や地域の子育て環境を調整し、安定した日常の生活を支援する。
- ③子どもや子育ての家庭が抱える問題の発生の予防、早期発見に努め専門機関と連携し適切に対応する。
- ④子育て家庭に対する相談、援助を行い、子育ての交流の場を提供する。
- ⑤地域組織活動の育成を支援し、子どもの育ちに関する人や組織のネットワークの中心となり子どもの健全育成の拠点となる。

以上の機能、役割を具現化するために以下の事業を実施した。

28年度は子育て環境の変化に対応すべく、幼児クラブの対象年齢の拡大や学童児対象の行事ではより多くの利用児が参加できるように見直した。

法人運動会、ひびきはばたき園つくっ展と輝けコンサート、福祉センター多世代交流会に積極的に参加し、クラブ活動の成果の発表を行い、障がい者、高齢者と関われるよう努めた。

定着した5月～8月の開館時間延長や移動児童館の取組みとして児童センターから遠方の学童保育室へ出向いてのけん玉認定会を継続実施した。

(2) 利用について

①利用対象

- ・保護者が同伴する乳幼児
- ・小学生
- ・児童関係の指導者及びこれに準ずるもの
- ・その他指定管理者が適当と認める者

②利用手続（入館は無料）

- ・受付で「児童センター使用証」の交付を受け、来館するときには使用証を提示する。
- ・子ども会活動等のため児童センターの部屋の専用許可を受けようとする場合は「特別使用許可書」の交付を受ける。

③開館時間

- ・午前8時45分から午後5時15分まで（5月から8月末は午後6時15分）

④休館日

- ・日曜日 ・国民の祝日
- ・12月29日から1月3日まで

(3) 年間主要行事の実施状況

(人)

実施日	行 事 名	定員	参加者	内 容
4 月 23 日	児 ー セ ン ま つ り 28	—	1,613	模擬店、ゲーム、クラフト等を行う。全市に児童センターのPRを行う。
5 月 14 日	新 1 年 生 歓 迎 会	—	47	新 1 年 生 に こ ど も ス タ ッ プ が 児 童 セ ン タ ー の 約 束 を 教 え、来館者全員でドッチボール・学年別大なわとび大会を行う。
6 月 25 日	じゃがいも収穫祭	30	30	児童センターの畑で収穫したじゃがいもを料理して食べる。
7 月 17 日 ～18 日	児 ー セ ン ツ ア ー ' 16	20	20	1 泊 2 日 で 川 遊 び、野 外 炊 飯、キャンプファイヤー (大森リゾートキャンプ場)
7 月 23 日	夏まつり	—	267	駄菓子屋・おばけやしき等 (人間科学大学協力)
	平和月間事業	—	148	市平和月間事業としてこども達が平和の願いを折り紙に書き、紙飛行機にして飛ばした後、ホールに飾り付けた。
8 月 22 日 ～23 日	サロン de シャベロン	—	138	こどもスタッフによる喫茶コーナー
8 月 27 日	すこやかネット	—	158	市民ボランティアグループによるクラシックミニコンサート をリコーダークラブとジョイントして行う。 一中校区地域教育協議会事業
9 月 17 日	お月見	50	51	天体観測、お月見団子づくりなど伝統行事を経験する。 (地区民生児童委員協力)
10 月 22 日	さつまいも収穫祭	30	30	児童センターの畑で収穫したさつまいもを料理して食べる。
12 月 10 日	クリスマス会 1 部 2 部	— 80	289 74	リコーダー、ミュージックベル、ダンス、バンド演奏、クリスマスティーパーティー
12 月 17 日	もちつき	90	122	もちつき大会 (地区民生児童委員協力)
1 月 4 日	書初めの日	—	28	新年の伝統行事 館内掲示をする
2 月 27 日	みしま三丁目劇場	—	139	リコーダー・マイクパフォーマンス・けん玉・バンド演奏等鑑賞行事

実施日	行 事 名	定員	参加者	内 容
3 月 10 日	乳幼児ランド	—	123	乳幼児対象イベント 消防自動車見学、ゲームコーナー、サーキットコーナーなど
3 月 17 日	もしかめグランプリ	—	131	けん玉のもしかめ大会
3 月 24 日	児一セン杯争奪けん玉道選手権大会	—	247	市内小学生のけん玉大会 練習成果の発表の場
3 月 25 日	卓球大会	—	20	市内小学生の卓球大会 練習成果の発表の場
3 月 29 日 ～30 日	お別れサロン	—	174	こどもスタッフによる喫茶コーナー
3 月 31 日	お別れドッチボール大会&ぜんざい	—	65	6 年生送別ドッチボール大会後、ぜんざいを食べる。 (地区民生児童委員協力)

①定例行事活動

登録制の親子プログラムである「P u k u²」「M u k u²」「ひよこちゃんよっといで」けん玉認定会等を定期的に実施した。

(人)

行 事 名	実施回数	延参加者数
P u k u M u k u 6 ヶ月～2 歳児	31 回	1,079
ひよこちゃんよっといで 3 歳児～	26 回	764
トランポリンの日	10 回	892
けん玉認定会(移動児童館含む)	18 回	780

②教室活動

職員指導による各種クラフト教室、専門講師を招いた各種教室などを開催した。

(人)

実施日	教室名	定員	参加者	実 施 の 内 容
5 月 7 日	母の日プレゼント作り	20	20	革のキーホルダー作り 講師 1 名
6 月 18 日	父の日プレゼント作り	20	20	革のしおり作り 講師 1 名
7 月 25 日	工作くん① 「ヤックン」	15	15	老人福祉センターで粘土クラフト(交流事業)
8 月 6 日	工作くん② 「モックン」	20	20	N P O 法人児一センスクールによる木工クラフト

実施日	教室名	定員	参加者	実 施 の 内 容
11 月 19 日	クリスマスクラフト	20	20	クリスマスリースの壁掛け作り
12 月 24 日	しめ縄作り	15	15	しめ縄リースづくり 講師 1 名
1 月 28 日	節 分	—	65	まめまき・節分ゲーム大会
2 月 4 日	チョコレート作り	24	24	バレンタインのチョコレート作り

③クラブ活動

指導者が児童を集団で指導するクラブを編成し、継続指導を行った。また、幼児親子対象のおもしろくらぶでは大阪人間科学大学こども保育学科と連携して実施した。

(人)

クラブ名	期間・活動日・活動日数	部員数	延参加者数
けん玉クラブ(前期)	4 月 7 日～ 9 月 29 日 木曜日 22 回	16	322
〃 (後期)	10 月 1 日～ 3 月 24 日 木曜日 21 回	18	341
卓球クラブ (前期)	4 月 8 日～ 9 月 30 日 金曜日 23 回	15	321
〃 (後期)	10 月 7 日～ 3 月 25 日 金曜日 20 回	15	287
リコーダークラブ(前期)	4 月 2 日～ 9 月 24 日 土曜日 21 回	18	350
〃 (後期)	10 月 1 日～ 3 月 25 日 土曜日 22 回	22	452
クリスマス児ーセンキッズ	10 月 1 日～12 月 10 日 計 18 回	13	212
おもしろくらぶⅠ期	5 月 12 日～ 6 月 30 日 木曜日 8 回	40	307
〃 Ⅱ期	9 月 29 日～11 月 24 日 木曜日 8 回	40	310
こどもスタッフ(前期)	3 月 4 日～ 9 月 17 日 計 20 回	15	194
〃 (後期)	10 月 1 日～ 3 月 31 日 計 18 回	14	189

④各種大会参加

クラブ活動の成果としての発表会や対外試合等に参加した。

(人)

実施日	事業内容	参加者	クラブ	開催場所
5 月 8 日	摂津市こどもフェスティバル 2016	16	けん玉クラブ	大正川河川敷
6 月 26 日	文部科学大臣杯けん玉道選手権大会(南関西予選会)	11	けん玉クラブ 有段者	大阪市立 住吉小学校
9 月 10 日	西日本リコーダーコンクール	17	リコーダー クラブ	あましんアルカイック ホール・オクト

実施日	事業内容	参加者	クラブ	開催場所
9月24日	卓球クラブ交流試合①	26	卓球クラブ	第1児童センター
2月18日	ひびき・はばたき つくっ展と輝きコンサート	13	児ーセンキッズ	摂津市立コミュニティ プラザ
3月12日	多世代交流事業	7	〃	摂津市立身体障害者・ 老人福祉センター
3月18日	卓球クラブ交流試合②	45	卓球クラブ	第1児童センター

(4) 使用状況

月	個人使用	特別使用	計	(日)	(人)
				開館日数	1日平均
4	3,842 (2,064)	21	3,863	25	155
5	2,171 (683)	28	2,199	23	96
6	2,669 (763)	17	2,686	26	103
7	2,693 (1,012)	23	2,716	25	109
8	2,619 (809)	0	2,619	26	101
9	2,502 (667)	32	2,534	23	110
10	2,387 (1,022)	13	2,400	25	96
11	2,277 (704)	47	2,324	24	97
12	2,072 (871)	7	2,079	23	90
1	1,878 (826)	8	1,886	23	82
2	1,743 (665)	4	1,747	23	76
3	2,979 (1,272)	9	2,988	26	115
計	29,832 (11,358)	209	30,041	292	103

※ () は主催事業参加者 特別使用…子育てグループ活動等のため部屋の専用許可を受けようとする場合

(5) 年齢別使用証交付状況

(人)

月	乳児	幼児	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合 計	累 計
4	44	106	41	59	76	98	65	94	583	583
5	28	27	12	14	17	29	11	13	151	734
6	15	39	10	9	8	5	3	12	101	835
7	25	31	12	12	18	18	8	6	130	965
8	10	22	14	11	12	9	11	12	101	1,066
9	12	25	6	3	10	8	5	3	72	1,138
10	12	18	10	4	1	3	3	4	55	1,193
11	22	18	11	4	6	3	5	7	76	1,269
12	7	9	5	4	3	8	3	1	40	1,309
1	15	12	4	3	3	1	1	2	41	1,350
2	9	7	7	6	5	2	7	2	45	1,395
3	15	10	5	9	4	6	6	9	64	1,459
合計	214	324	137	138	163	190	128	165	1,459	

(6) 学校別使用証交付状況

(人)

月	摂津	味舌	三宅柳田	その他	合 計	累 計
4	269	75	69	20	433	433
5	49	17	21	9	96	529
6	29	5	6	7	47	576
7	39	13	10	12	74	650
8	36	6	16	11	69	719
9	14	5	8	8	35	754
10	10	6	5	4	25	779
11	18	8	6	4	36	815
12	9	9	5	1	24	839
1	6	5	2	1	14	853
2	4	12	6	7	29	882
3	11	5	12	11	39	921
合計	494	166	166	95	921	

(7) ボランティア受け入れ状況

児童センターを利用したOB・OGの中・高校生, 大学生, 社会人のボランティア, 親子プログラムのOGである母親ボランティア, 地域のボランティアとして民生児童委員等、様々なボランティアを受け入れた。

(日:人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
日 数	14	13	13	11	14	9	12	11	9	9	6	10	131
行事・日常ボランティア延活動者数	83	61	60	43	46	55	34	26	50	18	22	41	539

(8) 避難訓練実施状況

全来館者を対象にして火災、地震想定避難誘導消火訓練を実施した。

年間延参加者数は142名であった。(その他の避難誘導訓練は以下の通り)

(人)

実 施 日	参 加 者	実 施 内 容
3 月 10 日	123	幼児親子を対象に火災を想定して避難誘導訓練及び通報訓練を実施。市消防隊員の講話と消防車の見学を実施。

(9) 個人情報の取り扱いおよび虐待防止についての取り組み状況

使用証の交付申請書、使用登録カードはじめ個人情報が記された書類などの管理は、施錠したキャビネットにて保管した。施設外への個人情報データの持ち出しも一切行なわなかった。

虐待やいじめを受けているなどの問題ケースの対応は、来館児童に受付にて視診し声かけを行なった。様子がおかしい場合、状況観察に努め各職員からアプローチし、状況により学校、家庭と連絡連携し、問題の解決に努めた。

(10) 職員研修

日常業務に必要な技術の習得や質の高いサービス向上を目指し、職員の資質を高めるために研修会に参加した。

研 修 日	研 修 名	開催場所	主 催	職 種	備 考
6 月 11 日 ～12 日	トリプルP ジャパン研究会大阪大会	摂津市	NPO法人 トリプルP ジャパン	児童厚生員	基 調 講 演 ・ 研究報告聴講
9 月 16 日	虐待防止研修	摂津市	法人内研修	〃	

研修日	研修名	開催場所	主催	職 種	備考
9 月 27 日	防犯研修	摂津市	法人内研修	児童厚生員	
10 月 12 日		〃		施設長	
10 月 13 日	防犯研修	施設内	施設内研修	全職員	
10 月 4 日 ～7 日	児童厚生員 中堅児童厚生員等 研修会	大阪市	財団法人 児童健全育成 推進財団	児童厚生員	児童厚生員 1 級資格
10 月 18 日	大阪府 児童厚生員等 研修会	大阪市	大阪府立 大型児童館 ビッグバン	〃	[児童館論]
11 月 1 日					[個別援助活動]
11 月 4 日					[配慮を要する 児童の対応]
11 月 6 日		堺市			[表現活動]
					[ゲーム・運動 あそび]
3 月 17 日	S N S 利用ルール	摂津市	法人内研修	〃	

(1 1) 運営委員会について

(人)

	実 施 日	参加者	内 容
第 1 回	8 月 31 日	9	委嘱状交付、概要説明、事業報告 決算概要報告、近況報告、質疑応答
第 2 回	3 月 15 日	6	事業計画、予算概要説明 近況報告、質疑応答

6 摂津市障害者総合支援センター

I 摂津市障害者総合相談支援センター「ウィング」

(1) 概 況

平成28年度は、〔1〕摂津市指定「特定相談支援」、「障害児相談支援」、〔2〕摂津市委託「摂津市障害者相談支援事業」、「摂津市障害児相談支援事業」、〔3〕大阪府指定「地域相談支援」、〔4〕摂津市委託「摂津市基幹相談支援センター等機能強化事業」、〔5〕大阪府事業で大阪府より相談支援アドバイザーとして委嘱を受けた「大阪府障がい者相談支援アドバイザー派遣事業」〔6〕摂津市委託「障害支援区分認定調査員」〔7〕陽だまりと会議室の運営を継続して実施した。障害福祉サービスを利用する際には計画相談支援の導入が必須になるため、計画相談支援を重点的に実施して対象者のほぼ全員の支援導入が達成した。

(2) 事業の状況

①特定相談支援（サービス利用支援、継続サービス利用支援）、障害児相談支援（障害児支援利用援助、継続障害児支援利用援助）

サービス等利用計画作成を386名、障害児支援利用計画作成を110名について実施した。本人が地域でいきいきと自分らしく生活が送れるように本人中心支援計画をケアマネジメント手法を活用して作成し、きめ細やかな支援を行った。また、本事業を適用することにより関係機関の連携強化、明確な役割分担、系統だった支援による本人のエンパワメントの引き出しを行った。

②障害者相談支援事業、障害児相談支援事業

対象者は、摂津市内在住の障がい（身体・知的・精神）者及び障がいのある児童である。

障害者相談支援事業は、知的障がい者を対象としていたが、身体障がい者や精神障がい者（主に発達障がい）の継続相談も受けてきている。相談経路は、行政機関や専門機関、各教育機関・学校から情報提供を受けたり、障害福祉ハンドブック、ホームページなどを見て連絡される方も増えてきている。

（障害者相談支援事業）相談の内訳と件数

（人）

相談内容	福祉サービスの利用	障害や病状の理解	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係	家計・経済	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	合計
件数	419	36	232	370	1	119	182	157	66	24	54	198	1,858

(障害児相談支援事業) 相談の内訳と件数

(人)

相談内容	福祉サービスの利用	障害や病状の理解	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係	家計・経済	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	合計
件数	232	9	19	9	140	5	0	2	0	4	14	319	753

(主催事業)

余暇支援の一環として、法人運動会や風船バレーボール大会への参加呼びかけを行い、摂津市から委託を受け、エアロビクスダンス教室を主催した。(市民グループもスタッフとして参加)

(人)

	日付	行事名	参加人数	内容	場所
1	10月22日	摂津宥和会運動会	40	ウィング利用者に声かけ	市立三宅柳田小学校
2	12月11日	摂津市風船バレーボール大会	7	ウィングでのチーム参加	
3	2月26日	エアロビクスダンス教室	60	エアロビクスダンス	

③地域相談支援

障がい者支援施設等の施設に入所している障がい者や精神科病院等に入院している精神障害者、矯正施設を退所される障がい者に対して、住居の確保、地域生活に移行するための活動に関する相談、その他の便宜を供与する地域移行支援は、今年度は、障がい者支援施設からグループホームへ2名の移行の支援を実施した。

居宅において単身等の状況において生活する障がい者に対して、当該障がい者との常時の連絡体制を確保し、障がいの特性に起因して生じた緊急の事態において相談、その他の便宜を供与する地域定着支援は対応できる体制を確保してきたが対象者(支給決定者)はなかった。

④摂津市基幹相談支援センター等機能強化事業

市町村における相談支援事業が、適正かつ円滑に実施されるよう、相談支援の強化を図る

ことを目的としている。三障がいを対象とした相談支援拠点（基幹相談支援センター）の設置によって専門的な相談支援等を要する困難事例への対応や総合相談、地域自立支援協議会を構成する相談支援事業者等に対して専門的な指導、助言などを行った。また、長期入所・入院者の地域移行推進や自立支援協議会の運営などと摂津市障害者介護給付費等支給審査会審査委員の委嘱を受け審査会に出席した。

1) 市自立支援協議会実務担当者会議 (事務局会議・相談支援部会、障害児相談連絡会)	年 13 回
2) 摂津市障害者地域自立支援協議会代表者会議	年 1 回
3) 各支援学校主催会議や進路支援等	年 5 回
4) 相談支援事業者・障害福祉サービス事業者等への専門的助言指導や調整	年 21 回
5) 介護給付費等支給審査会	年 6 回
6) 地域移行・各種ネットワーク会議等	年 8 回
7) 支援困難事例や初期相談等の個別支援	年 4 回
8) その他（研修講師、研修受講、市民団体への助言など）	年 10 回
	合計 68 回

⑤大阪府障がい者相談支援アドバイザー派遣事業

大阪府の地域生活支援事業として位置づけられており、市町村および指定相談支援事業所に障がい者の相談支援に関し、専門性の高いアドバイザーを派遣し、地域のネットワーク構築に向けた指導・調整等、広域的支援を行うことにより、地域における相談支援体制の整備推進に努めた。

1) アドバイザー報告連絡調整会議	年 10 回
2) 市町村地域自立支援協議会連絡会議	年 1 回
3) 大阪府障がい者自立支援協議会オブザーバー参加	年 1 回
4) 市町村へのアドバイザー派遣	年 2 回
	合計 14 回

⑥障害支援区分認定調査員

障害福祉サービス（介護給付費）の支給にあたり、市から障害支援区分認定調査員の委託を受け、127件の認定調査を実施した。

⑦陽だまりと会議室(貸室)の運営

障がい福祉の啓発を目的に当センターロビーに市内日中活動系事業所の利用者が作った作品の展示(一部は販売)と、市民が自由に持ち帰ることが出来るよう障がい福祉事業所や機関、当事者団体のパンフレットや機関紙等を設置し、障がい当事者や家族、関係者にとどまらず、一般市民にも作品を鑑賞、購入していただいた。

また、市内障がい福祉事業所や当事者団体の活動を支援する等の目的で、会議室の貸室事業を継続し、必要に応じて相談支援機能強化事業として、当事者団体等の定例会に参加し、助言や情報提供を行った。

現在、貸室登録団体は12団体で平成28年度利用実績回数は79回。

(3) 研修

職員の専門性の向上を目指し、質の高いサービスを提供するため、各種研修会に参加した。

	日 付	内 容	場 所	主 催	職 種
1	4 月 7 日	虐待防止研修	摂津市障害者総合支援センター	摂津市障害者総合支援センター	相談支援専門員
2	5 月 17 日	平成 28 年度障がい支援区分 認定調査員研修	エル・おおさか	エル・おおさか	
3	5 月 13 日 16 日 30 日	平成 28 年度相談支援従事者専門コース別研修 障がい児支援コース	たかつガーデン	たかつガーデン	
4	7 月 12 日	精神保健福祉の移り変わり と摂津市での取り組みについて 勉強会	摂津市障害者総合支援センター	摂津市障害者総合支援センター	管理者、 相談支援専門員
5	7 月 19 日	経理研修	摂津市立身体障害者・老人福祉センター	摂津市立身体障害者・老人福祉センター	
6	9 月 13 日	精神障害部会 勉強会	摂津市障害者総合支援センター	摂津市障害者総合支援センター	相談支援専門員
7	9 月 14 日	精神保健福祉関係機関職員研修会	茨木保健所	茨木保健所	
8	9 月 16 日	虐待防止研修	摂津市立みきの路	法人内研修	
9	10 月 12 日	防犯研修	摂津市立身体障害者・老人福祉センター	〃	管理者、 相談支援専門員
10	11 月 1 日	摂津・精神障害者の地域生活を考える学習会	摂津市障害者総合支援センター	あけぼの福祉会	
11	11 月 16 日	障がい者福祉施設従事者等による障がい者虐待の防止と対応	大阪府立急性期・総合医療センター	大阪府障がい者自立相談支援センター	相談支援専門員
12	1 月 17 日	摂津・精神障害者の地域生活を考える学習会	摂津市障害者総合支援センター	あけぼの福祉会	
13	1 月 31 日	知的障がいを伴う発達障がいのある方へのこだわりへの理解と支援について～事例を通して考える～	大阪府立急性期・総合医療センター	大阪府障がい者自立相談支援センター	
14	3 月 17 日	S N S の利用のルール	摂津市立みきの路	法人内研修	
15	3 月 17 日	大阪府相談支援従事者研修専門コース別研修（基幹相談支援センターコース）	クリスタルホール	大阪府障がい者自立相談支援センター	管理者

(4) 日中一時支援事業(愛称 ぱたぱた)

①概況

安威川以北の日中一時支援事業の拠点施設として事業を実施した。障がい児・者等の日中における活動の場を確保し、家族の就労支援及び障がい者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を目的とし、定員は、3名で管理者1名(相談支援事業と兼務)と専任の生活支援員1名体制で支援を行った。

②事業の状況

1) 日中生活の支援

身体等の介護及び日常生活上の支援として、排泄における誘導や介助、食事(持参弁当)の介助等を行った。また、安全に過ごせるように見守り支援を行いながら、創作活動及びレクリエーションとしての音楽やテレビ視聴、制作等の創作活動を行い、精神的な安定を図りながら余暇活動を行った。

2) 健康管理面

健康管理として、家庭での健康状態を聞き、サービス提供中の利用者の健康状態に対して常に留意し、疾病の早期発見、予防に努めた。また、慢性疾患等において継続的に服薬が必要な利用者に対しては、服薬支援も行った。

3) 日中一時支援事業申請の援助

日中一時支援事業を利用するにあたっての申請を行う際に必要な支援を行った。

4) 相談及び援助

利用者及び家族からの相談については、相談支援事業において受け付け、ニーズの充足に結びつけた。

利用契約者の内訳と人数(平成29年3月31日現在) (人)

年齢層	0～5才	6～10才	11～15才	16～20才	21才～	計
人数	0	4	15	12	4	35

利用実績(延人数) (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	25	23	26	27	39	18	20	16	20	22	22	21	279

職員研修

	日付	内容	場所	主催	職種
1	11月8日	感染症予防対策講習会	クレオ大阪中央ホール	(社福)大阪府社会福祉協議会	生活支援員

Ⅱ 茨木・摂津障害者就業・生活支援センター

(1) 概況

茨木・摂津障害者就業・生活支援センターは、職業生活における自立を図るために、就業及びこれに伴う日常生活、または社会生活上の支援を必要とする障がい者に対し、雇用・保健・福祉・教育等の関係機関との連携（連絡・調整）を図りつつ、身近な地域において必要な指導・助言その他の支援を行うことにより、その雇用の促進および職業の安定を図った。

当センターの年間就職件数は61名で、年度当初見込んでいた目標値である60名以上を達成した。障がい種別にみると、身体障がい者が5名、知的障がい者が33名、精神障がい者が23名、その他が0名で摂津市・茨木市別に就職状況をみると、摂津市が29名で茨木市が32名であった。また、職場定着支援については、昨年度同様、当センターの登録者が増加し、それに伴い定着支援の回数が増えたことが特徴的な年となった。定着支援を重ねることで当センターの支援力の向上や雇用する事業者への障がいについての理解促進等が課題として表面化した。課題克服のためサービスの質の向上を目指し、個別支援計画の試行実施や週1回のケース会議実施、毎月第1土曜日の相談日の開設を行った。なお、定着支援で新規の取り組みとして平成27年度から開始された摂津市役所での障がいのある非常勤職員集中配置型の事務所(チャレンジドオフィス)と連携した支援を実施した。(年6回のケース支援会議参加)

支援の効率性を高めるために実施してきた新規利用者を対象とした集団でのサービス内容説明会であるガイダンスを継続した。就業・生活支援センターの事業説明と支援内容を理解していただいた上でサービス利用を希望される方には個別面談を実施しているが、概ね好評である。

就労支援のネットワーク構築については、摂津・茨木両市の障害者地域自立支援協議会委員や摂津支援学校協議会委員の就任をはじめ、行政及び関係機関、企業等とのネットワークを深めていく中で、地域における障がい者の就労支援を担う機関としてその果たすべき役割が大きくなってきている。

年1回の運営会議については、8月29日（月）に茨木市役所で開催し、パワーポイントを活用しながら活動状況の報告や職場定着支援について意見交換等を行った。

さらに、支援学校生徒の卒業後の支援が切れ目のないようにしていくために5か所の特別支援学校と3か所の障害者就業・生活支援センターの支援担当者会議を年に3回実施した。

(2) 就業・生活支援センター活動の状況（利用者参加）

実施日	行事名	場 所	内 容
6月7日	高槻市雇用促進フェア	高槻市立生涯学習センター	障がい者合同就職面接会
7月27日	大阪府立とりかい高等支援学校生徒に対する進路相談	大阪府立とりかい高等支援学校	摂津市・茨木在住の3年生に対する個別相談会
9月5日	茨木・摂津障害者就業・生活支援センター面接マナー講座	摂津市障害者総合支援センター	就職活動中の登録者が面接マナーの講義と実技に参加

実 施 日	行 事 名	場 所	内 容
9 月 7 日	摂津市障害者就職フェア	ポリテクセンター関西	障がい者合同就職面接会
9 月 12 日	摂津支援学校高等部及びとりかい高等支援学校 3 年生とに対する出張ガイダンス	大阪府立摂津支援学校・とりかい高等支援学校	就業・生活支援センター事業内容説明会
10 月 6 日	大阪府障害者就職面接会	マイドームおおさか	障がい者合同就職面接会
10 月 22 日	摂津宥和会運動会	摂津市立三宅柳田小学校	運動会に参加
11 月 22 日	茨木市障害者就労支援フェア	茨木市役所南館	障がい者合同就職面接会

(3) 利用者の状況

①地域別相談者数

(人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合 計
摂津市	163	78	112	9	362
茨木市	328	113	228	25	694
合計	491	191	340	34	1,056

②新規相談者数

(人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合 計
摂津市	15	2	19	0	36
茨木市	15	1	26	2	44
合計	30	3	45	2	80

③延べ相談件数

(件)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合 計
摂津市	1,013	181	560	74	1,828
茨木市	857	208	1,142	101	2,308
合計	1,870	389	1,702	175	4,136

④市別利用登録者数

(人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合 計
摂津市	122	38	27	6	193
茨木市	260	62	76	10	408
合 計	382	100	103	16	601

(4) 就職の状況

①職場実習

(人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合 計
摂津市	8	1	3	0	12
茨木市	7	3	5	0	15
合 計	15	4	8	0	27

②就職者

(人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合 計
摂津市	18	2	9	0	29
茨木市	15	3	14	0	32
合 計	33	5	23	0	61

(5) 職員研修

利用者の職業生活における自立を図ることを目的に、必要な情報・知識を習得し、職員の資質を高めるため研修会、連絡会等へ参加した。

実 施 日	研 修 名	主 催	場 所	内 容
4 月 7 日	虐待防止研修	摂津宥和会	摂津市障害者総合支援センター	内部研修
7 月 19 日	経理研修		摂津市立身体障害者・老人福祉センター	会計ソフトの使い方
8 月 19 日	平成28年度障がい者雇用就労支援施策・制度勉強会	大阪府福祉部、教育庁、商工労働部	大阪府庁咲洲庁舎	講演「職場定着支援の実際」、グループワーク、実践報告など
9 月 16 日	虐待防止研修	摂津宥和会	摂津市立みきの路	施設内における虐待防止について

実 施 日	研 修 名	主 催	場 所	内 容
9 月 27 日	障がい者雇用に役立つ就労支援機器とその活用	独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構	大阪障害者職業センター	就労支援機器の貸出制度や活用例等の説明、就労支援機器の体験など
10 月 4 日～ 10 月 7 日	平成 28 年度第 3 回就業支援担当者研修	〃	障害者職業総合センター（千葉県幕張）	就業・生活支援センターの就業支援担当者に必要な基本的知識・技術等を習得する
10 月 12 日	防犯研修	摂津宥和会	摂津市立身体障害者・老人福祉センター	摂津警察署員から不審者侵入時の対応についてさす股を使用した実技研修
11 月 18 日	アセスメントの視点を学ぶ～基礎編～	独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構	大阪障害者職業センター	アセスメントや支援計画の作成方法の解説と職業センターにおける支援プロセスの紹介など
1 月 19 日	高槻市障がい者就業・生活支援センター創立 10 周年記念講演会	高槻市障がい者就業・生活支援センター	富田ふれあい文化センター	講演「障害者就労支援の 10 年～今とこれから～」シンポジウム「高槻での就労支援とネットワークの役割」
1 月 27 日	若年性認知症支援者研修	大阪府福祉部 高齢介護室	大阪府庁新別館 南館	講演、実践報告とグループワーク
1 月 30 日	平成 28 年度大阪府内の知的障がい者福祉関係機関職員に対する「第 2 回機関研修会」	大阪府障がい者自立相談支援センター	大阪府立急性期・総合医療センター	知的障がいを伴う発達障がいのある方へのこだわりの理解と支援について～事例を通して考える～
3 月 3 日	知的、精神、発達障がいのある人とともに働く	大阪府社会保険労務士会	大阪リバーサイドホテル	講演「感じてみませんか？発達障がいの世界～オリジナル画像を使って日常生活を具体的に～」 「障がい者雇用の取り組み」

実施日	研修名	主催	場所	内容
3月6日	平成28年度大阪府内の知的障がい者福祉関係機関職員に対する「第3回機関研修会」	大阪府障がい者自立相談支援センター	大阪府立急性期・総合医療センター	講演「地域における困難ケースと刑事司法～アセスメントから支援の流れを考える～」

(6) 関係機関との会議

実施日	会議名	場所	内容
8月29日	茨木・摂津障害者就業・生活支援センター運営会議	茨木市役所	就業・生活支援センター事業報告及び事業計画、「職場定着支援の課題について」
10月20日	平成28年度障害者就業・生活支援センター近畿ブロック経験交流会議	和歌山県J Aビル	厚生労働省からのセンター事業に関する説明、基調講演「発達障がい者に対する就労支援について」、グループ別意見交換
5月19日	大阪障害者就業・生活支援センター連絡会 北摂ブロックほくほく会	吹田市立総合福祉会館	各センターの取り組み状況、今後の会の運営について等
9月9日		豊中市立中央公民館	各市役所庁舎内実習について、グループ討議(使用者虐待について、実習同意書の対応について)
2月10日		就労支援センターフォルツァ	職場実習受け入れ促進事業について、グループディスカッション(企業実習の支援で困ったこと他)
5月31日		大阪合同庁舎第4号館	職場定着支援に向けた支援について、大阪府における障害者関係施策について、グループ討議、その他
10月14日	大阪障害者就業・生活支援センター連絡会	大阪府咲洲庁舎	行政からの情報提供及び質疑応答、大阪就労移行支援事業所連絡会について、全国就業支援ネットワーク会議について、グループ討議
1月24日		大阪合同庁舎第2号館	障がい者雇用状況について、平成29年度の取組みについて、A型事業所の特定求職者雇用開発助成金の取り扱いについて、大阪府における障がい者関係施策について、グループ討議など
6月2日	摂津市障害者地域自立支援協議会代表者会議	摂津市立地域福祉活動支援センター	実務担当者(相談支援部会)からの報告、第3期障害福祉計画の平成27年度実績など

実施日	会 議 名	場 所	内 容
偶数月の第 2 水曜日 (年 6 回)	摂津市障害者地域自立支援協議会相談支援部会	摂津市障害者総合支援センター	各センター近況報告、部会報告、その他
5 月 23 日	摂津就労支援ネットワーク会議	摂津市障害者総合支援センター	各機関近況・情報提供、今後のネットワーク会議について
11 月 21 日			各機関近況・情報提供、最近の相談内容の傾向について
2 月 13 日			今後の会議の在り方について・情報提供
6 月 27 日	大阪府立摂津支援学校協議会	大阪府立摂津支援学校	学校より報告および協議「今年度の学校経営計画について等」
11 月 7 日			本年度の取組みの進捗状況について、授業アンケートの報告、学校教育自己診断実施について等
2 月 22 日			学校教育自己診断の結果報告等
7 月 7 日	三島ブロック進路指導関係機関連絡会	大阪府立摂津支援学校	平成 27 年度高槻・茨木・摂津・吹田各府立支援学校および、とりかい高等支援学校、府立高等支援学校生徒の進路先報告と平成 28 年度高等部 3 年生の進路希望状況の報告
12 月 8 日		大阪府立高槻支援学校	講演「C-STEP について」、情報交換等
3 月 2 日		大阪府立とりかい高等支援学校	卒業生の進路状況の報告と課題についての協議、行政、就・センター・相談支援事業所の報告等
4 月 28 日	茨木市障害者地域自立支援協議会定例会	茨木市役所	第 1 回自立支援協議会全体会次第案について、情報提供・各取り組みの報告について等
5 月 26 日			第 1 回自立支援協議会全体会タイムテーブルについて、事務局会議報告等
7 月 28 日			全体会報告、事務局会議報告、障害者差別解消支援地域協議会について等
9 月 29 日			しょうがい福祉フェスタについて、第 2 回全体会について、課題抽出グループワークについて等

実施日	会 議 名	場 所	内 容
11 月 24 日	茨木市障害者地域自立支援協議会定例会	茨木市役所	事務局会議報告、第 2 回全体会について、各部会・PT 等からの連絡事項について等
1 月 26 日			第 2 回全体会の振り返り、全体会委員の構成機関(案)について等
3 月 24 日			28 年度自立支援協議会の振り返り、情報提供・各取り組みの報告について等
10 月 12 日	摂津市障害者虐待防止ネットワーク会議	摂津市役所	平成 27 年度における障害者虐待の状況、障害者虐待防止への取り組みについて
4 月 12 日	茨木市障害者地域自立支援協議会就労支援部会	茨木市役所	就労支援事業所の再利用について、企業体験実習について
6 月 14 日			就労支援事業所の再利用について、しょうがい福祉フェスタについて、就労支援部会企画書について
8 月 9 日			しょうがい福祉フェスタ進捗状況について、B 型事業所連絡協議会との対応について
10 月 11 日			
12 月 13 日			しょうがい福祉フェスタ報告、就労継続支援 B 型事業所連絡会報告、来年度の検討事項
2 月 14 日			今年度の振り返り、来年度の方向性、その他
6 月 23 日	茨木市障害者地域自立支援協議会全体会議	茨木市立男女共生センター	茨木市における障害者相談支援体制及び相談支援実施状況について、自立支援協議会方針案について等
12 月 19 日		茨木市役所南館	入院時コミュニケーション事業、障害者差別解消法に係る協議会の検討、障害児支援の今後の方向性について、しょうが福祉フェスタの実施報告等
9 月 27 日	茨木就労支援ネットワーク会議	茨木市立障害福祉センター	就労支援部会報告、「しょうがい福祉フェスタについて」等
10 月 25 日			就労移行支援のアセスメント実習について等

実施日	会 議 名	場 所	内 容
11 月 29 日	茨木就労支援ネットワーク会議	茨木市立障害福祉センター	茨木市しょうがい福祉フェスタ報告、茨木市合同面接会報告、茨木市就労継続支援 B 型事業所連絡会報告等
1 月 24 日			就労継続支援 A 型事業所への対応について等
2 月 28 日			就労支援部会報告、就労系サービスについての意見交換
10 月 28 日	茨木就労継続支援 B 型事業所担当者会議	茨木市立かしの木園	障害福祉課から庁内職場実習の依頼、共同受注業務の仕様伝達について、情報共有
9 月 2 日	特別支援学校と障害者就業・生活支援センターの支援担当者会議	摂津市障害者総合支援センター	各近況、施設入所生徒の状況・企業情報について意見交換
11 月 30 日			
4 月 21 日	就労支援関係事業所連絡会議（法人内）	摂津市障害者職業能力開発センター	各事業所の近況、今後の連携について
8 月 2 日			各事業所の近況、求人情報等の情報共有
11 月 8 日			各事業所の近況、その他
2 月 15 日			
9 月 15 日	平成 28 年度障害者雇用促進セミナー	ハローワーク茨木	障害者就業・生活支援センターの業務内容について講演

（7）就業・生活支援センターの P R 活動

摂津市、茨木市の障がい福祉担当課、商工担当課をはじめ市の広報への掲載及び、茨木公共職業安定所等主催の障がい者合同面接会において企業、求職者に対して P R 活動に努めた。